



こうのとり通信

No. 118

発行日：2024年4月10日 編集：広報委員会 <http://www.hacsw.or.jp/>

お知らせ

一般社団法人兵庫県社会福祉士会 役員立候補者について

2024年3月21日

一般社団法人兵庫県社会福祉士会
選挙管理委員会委員長 谷口 智昭
委員 中山 緑
委員 藤井 真人

一般社団法人兵庫県社会福祉士会役員立候補者について

2024年度及び2025年度の役員選出について「一般社団法人兵庫県社会福祉士会 役員選出に関する規則」に基づき会員理事立候補者の公募を行ったところ、公募定数10名に対し立候補者11名と定数を超える結果となりました。

また、会員監事立候補者の公募を行ったところ、公募定数2名に対し立候補者1名という結果となりました。

このことについて「一般社団法人兵庫県社会福祉士会 役員候補者選出に関する細則」に基づき、2024年2月14日付の「一般社団法人兵庫県社会福祉士会役員候補者名簿の公表について」にて会員のみなさまに周知したところです。

会員監事につきましては、定員を満たしていないため、2月27日～3月18日を立候補期間として再公募いたしました。結果、1名の立候補者があり、選挙管理委員会で確認をいたしました。したがって、会員監事につきましては定員を満たしました。

会員理事につきましては、2024年3月2日付で役員候補者の近藤健太氏より下記のとおり「『会員理事』立候補届の取り下げについて」が提出され、選挙管理委員会にて確認いたしました。

したがって、一般社団法人兵庫県社会福祉士会役員候補者名簿を修正いたします。

お知らせ

「会員理事」立候補届の取り下げについて

「会員理事」立候補届の取り下げについて

2024年度及び2025年度の役員選出における「会員理事」について、立候補を取り下げます。

理由

阪神ブロック役員会にて、「ブロック推薦理事」として選出されることになったため。

2024年3月2日

近藤健太

目次

【お知らせ】

- 一般社団法人兵庫県社会福祉士会 役員立候補者について…………… 1
- 「会員理事」立候補届の取り下げについて…………… 1
- 役員候補者名簿の公表について…………… 3
- 兵庫県社会福祉士会会費引落についてのお知らせ…………… 4
- 6月29日開催の総会で定款変更します ～何卒ご協力のほどよろしくお願いします。…………… 5
- 総額表示となります ～本会開催研修等の受講料等の価格表示について…………… 5

【報告】

- 広報誌「Pocket」第16号を発行しました…………… 5
- SWD2023小冊子を発行しました…………… 6
- 社会福祉実践発表会…………… 8
- 丹波地区ブロック研修会…………… 9
- 2023年度後期こうのとりのゼミ②
「外国にルーツのある子どもと家族の学校制度・子育てを学ぶ～ネパール・フィリピン・ベトナム」… 10
- 医療的ケア児等コーディネーター フォローアップ研修…………… 11
- 2023年度自殺予防ソーシャルワーク研修…………… 12
- 「1.17 ひょうご安全の日のつどい」を見学しました…………… 13
- 2023年度後期こうのとりのゼミ③ 「非正規滞在について」…………… 14
- みんながwin-win♪ 就労支援の実際…………… 15
- なぜ、精神科医療現場等で虐待が繰り返されるのか…………… 16
- ブロック研修会「発達障害の理解と支援」…………… 17
- ナイト★カフェ（バイクとそら）…………… 18
- 神戸市北区の地域ふれあい祭り「まなぶ」に参加しました…………… 19
- 児童家庭支援センター（加古川虹の丘）との学習会…………… 20
- 実習指導者講習会…………… 21
- 実習指導者オンライン交流会…………… 22
- 第2回リーガル&ばあとなあ合同勉強会…………… 23

【ブロックインフォメーション】

- 神戸ブロック…………… 24
- 阪神ブロック…………… 24
- 東播ブロック…………… 25
- 西はりまブロック…………… 25

【委員会インフォメーション】

- ◆ 研修委員会…………… 26
- ◆ 調査研究委員会…………… 26
- ◆ ソーシャルワーク研究委員会…………… 27
- ◆ こども家庭支援委員会…………… 27
- ◆ 実習教育支援委員会…………… 28
- ◆ 災害福祉支援委員会…………… 28

【お知らせ】

- メーリングリストのお知らせ…………… 29
- Team-G 63号…………… 31
- 防災いいな 0号…………… 33
- オンライン研修の受講方法・注意事項（2024年度版）…………… 35
- manaable登録案内…………… 38

【研修案内等】

- ◆ 2024年度基礎研修Ⅰ…………… 39
- ◆ 2024年度基礎研修Ⅱ…………… 41
- ◆ 2024年度基礎研修Ⅲ…………… 43
- ◆ 2024年度スクールソーシャルワーカー養成研修…………… 45
- ◆ 2024年度成年後見人材育成研修…………… 47
- ◆ 2024.5.12 【Zoom・会場】西はりまブロック総会 基調講演…………… 49
- ◆ 2024.6.1～ 【オンデマンド】医療的ケア児等支援者養成研修【前期】…………… 50
- ◆ 2024.6.14～ 【Zoom】こうのとりのゼミ（前期）…………… 51
- ◆ 実践発表会 発表者募集…………… 53
- ◆ 研究誌「兵庫県社会福祉士」投稿募集…………… 54
- ◆ 委員会見学申込書…………… 55
- ◆ 会員情報変更届…………… 56

※ 各研修につきましては、申込人数が少ない場合、中止することがありますので、予めご了承くださいませようお願い致します。

■ 自然災害による中止及びその告知について

研修開始の2時間前に研修開催場所に特別警報が発令された場合は、研修会を中止いたします。また、特別警報の発令に関わらず、台風接近や自然災害の状況のみをみて、研修会をやむを得ず中止する場合がありますのでご了承ください。

基準等は、本会ホームページをご参照ください。 <http://www.hacsw.or.jp/>

研修開催の中止が決定した場合は、研修開始2時間前に本会ホームページ、または本会ホームページ下部にあるFacebookに掲載します。掲載がなければ開催するものをご理解ください。

役員候補者名簿の公表について

2024年3月21日

一般社団法人兵庫県社会福祉士会
選挙管理委員会委員長 谷口 智昭
委員 中山 緑
委員 藤井 真人

一般社団法人兵庫県社会福祉士会役員候補者名簿の修正について

2024年度及び2025年度の役員選出について「一般社団法人兵庫県社会福祉士会 役員選出に関する規則」に基づき会員理事立候補者の公募を行ったところ、公募定数10名に対し立候補者11名と定数を超える結果となりました。会員監事については公募2名に対し立候補者1名と定数に満たない結果となりました。

2024年3月2日、近藤健太氏より立候補の取り下げがあったことを選挙管理委員会にて確認しました。

会員監事につきましては、定員を満たしていないため、2月27日～3月18日を立候補期間として再公募いたしました。結果、1名の立候補者があり、選挙管理委員会で確認をいたしました。したがって、会員監事につきましては定員を満たしました。

つきましては、役員候補者名簿を修正いたします。ご確認いただくとともに、6月総会において立候補者の承認をいただきますようお願い致します。

なお、理事ならびに監事の選挙については、立候補者が定数と同数になったため実施いたしません。

記

1. 会員理事 定数 10名 立候補者10名

【会員理事立候補者】 届出順

No.	氏名	勤務先名称	現住所地
1	岡本 和久	神戸市福祉局障害福祉課	西宮市
2	寺田 順一	社会福祉法人揖南福社会 サルビアの家	姫路市
3	福井 良江	神戸市教育委員会	姫路市
4	段 真奈美	平成医療グループ 西宮回生病院	芦屋市
5	西垣 和仁	明西社会保険労務士事務所	明石市
6	宮崎賢太郎	神戸市社会福祉協議会	神戸市
7	小椋 智子	社会福祉法人ゆたか会	神戸市
8	永田 三輪	こうべオレンジダイヤル	神戸市
9	榎本 昌起	えのもとソーシャルワーク事務所	神戸市
10	西川圭一郎	Rights福祉法務事務所	西宮市

2. 会員監事 定数 2名 立候補者 2名

【会員監事立候補者】 届出順

No.	氏名	勤務先名称	現住所地
1	塩尻 点	社会福祉法人くすのき会 播磨園	上郡町
2	土谷 長子	皇学館大学	尼崎市

以上

兵庫県社会福祉士会会費引落についてのお知らせ

下記の通り、2024年度会費等を引き落としいたしますので、お知らせいたします。ご不明な点がございましたら下記担当までお問い合わせください。

記

2024年度 兵庫県社会福祉士会年会費

1. 引落日 2024年5月27日(月)
2. 引落金額 17,121円
内訳：兵庫県社会福祉士会年会費 17,000円
引落手数料121円(110円×消費税10%)

2024年度ばあとなあ兵庫名簿登録料 ※名簿登録者のみ

1. 引落日 2024年6月27日(木)
2. 引落金額 10,121円
内訳：ばあとなあ兵庫名簿登録料10,000円
引落手数料121円(110円×消費税10%)

※引落の前日までに、ご指定の口座へご入金いただきますようお願いいたします。

※預金通帳欄の摘要欄には、「DE.ヒョウゴフクシ」または「ミツビシUFJファクタ」等と印字されますのでご承知おきください。

※口座登録されていない方には、別途請求いたします。

お問合せ

一般社団法人兵庫県社会福祉士会 事務局 担当／中村・北野

TEL：078-265-1330 E-mail：syadanhyogo@hacsw.or.jp

お知らせ

6月29日開催の総会で定款変更します ～何卒ご協力のほどよろしくお願ひします。

これまで総会議案書はクロネコヤマトのメール便を利用して各会員に送付していましたが、2024年2月からゆうメールに切り替わり、それにより信書の扱いが厳密になりました。総会にかかる案内及び議案書については信書となるため、ゆうメールでの送付ができず、普通郵便で送付する場合、従前よりも30万円以上支出が増える見込みになりました。

それを受けて、支出削減に向けて検討を重ね、議案書の送付及び委任状・議決権行使の方法をいずれもデジタル化したいと考えております。

一般社団法人法で、議案集（社員総会資料）の電子提供制度について定款変更する必要があると定められております。

そこで、6月29日（土）に開催する決算総会にて定款変更の議案を提出いたします。

定款を変更するためには「議決権の3分の2以上に当たる多数が必要」（定款第19条第2項）となります。

つきましては、みなさまのご出席もしくは議決権行使（議決権行使書・委任状のご提出）のご協力をお願いいたします。

お知らせ

総額表示となります ～本会開催研修等の受講料等の価格表示について

昨年のインボイス制度導入に伴い、本会は消費税を納付する義務がある「課税事業者」となりました。このことに伴い、本会の本会開催研修等の価格表示について総額表示といたします。また、春号については税込表記がないものもございますが、2024年4月より本会開催の研修（県等からの受託事業を除く）は税込表記となっております。ご承知おきくださいますよう、お願い申し上げます。

（例） 料金（税込）：会員2,200円、一般4,400円

参加費（税込）：2,200円

報告

広報誌「Pocket」第16号を発行しました

広報委員会

兵庫県社会福祉士会の広報誌「Pocket」第16号を発行しました。広報委員会で話し合いを重ね、執筆を分担して作成しました。この「このとり通信 春号」に同封しています。ぜひ、ご覧ください。

今回の特集テーマは「多様性って、何？」。この言葉を耳にする機会こそ増えたものの、今一つイメージがわからない……。委員会ではそんな議論から出発しました。誌面では多様性を「異なる個性を持つ人が、集団の中にもともに存在すること」と位置づけ、「誰もが安心して暮らすために、多様性を尊重する大切さを伝えること」をめざしました。

本会会員でJICA 関西（神戸市）の国際協力推進員を務める村松紀子さんに、在住外国人を取り巻く状況や支援の現場について話をうかがったほか、「多様性に伴う課題に取り組む社会福祉士」と題して、「多様性の尊重はソーシャルワークの中核をなす」ことなどを取り上げています。

A4判、8ページ。兵庫県社会福祉士会のホームページに掲載し、市役所や町役場、図書館などの公的機関にも配架を依頼しています。

Pocketは年1～2回発行しています。取り上げてほしいテーマがあれば、どしどしお寄せください。広報委員会へのご参加もお待ちしています。

ソーシャルワーク関連 5 団体の小冊子 『「よりそい」のプロになる』発行

兵庫県社会福祉士会などで組織する「兵庫県ソーシャルワーク関連5団体」が、小冊子『ソーシャルワーカーたちからのメッセージ「よりそい」のプロになる』を発行しました。高校生を中心とした若者世代をターゲットに、社会福祉士や精神保健福祉士、介護福祉士、医療ソーシャルワーカー、介護支援専門員（ケアマネジャー）ら5職種の仕事内容をわかりやすい言葉づかいで紹介。温かみを感じるイラストもあしらわれたカラフルな一冊に仕上がっています。



ソーシャルワーカーデー企画として作成

関連5団体は毎年、福祉や介護、医療現場などをテーマにした合同研修を実施する一方、ソーシャルワーカー（SW）を地域住民に広く知ってもらう「ソーシャルワーカーデー（SWD）」イベントを共催しています。この小冊子は、2023年度のSWD企画として発案されました。

担当者による約10回のZoomミーティングやメーリングリストでのやり取りを通じて、冊子の構成や表現を何度も練り直したほか、県立日高高校福祉科（豊岡市）の生徒からもZoomミーティングで修正意見をもらい、約1年をかけて完成しました。

やりがいやこだわり 体験エピソードも

各職種を取り上げたページでは、それぞれの仕事内容をはじめ、働いている場所や「必要な能力」の一例、「やりがい」「こだわり」「知ってほしいこと」を掲載。実体験に基づくエピソードを紹介したページも設けられ、身元のわからない人が救急搬送されてきた際、所持していたポイントカードから名前を割り出して支援につなげたという話などが盛り込まれています。

県内高校に発送 「150部追加を」と反響

県内の県立・市立・私立高校約200校と、公立の図書館約100館に送付したところ、姫路市にある市立高校の福祉担当の先生から「うちの生徒が、地元の中学生に福祉の魅力について語る出前講座の教材として使いたい。私たちが伝えたいと思っていた事柄がわかりやすく書かれていて感激した」という声が寄せられ、追加で150部を送りました。高砂市にある私立高校の図書担当の先生からも「貴重な資料として大切に活用します」との手紙が届きました。

A 5判、20ページ。兵庫県社会福祉士会のホームページに掲載しています。ぜひ一度、ご覧ください。



開催日	2023年11月5日
参加人数	10名
開催方法	会場での実施
講師	荻田 藍子氏（兵庫県社会福祉協議会 福祉事業部長）

【研修概要】

実践報告→実践研究へつなげるために

例年、「実践研究発表会・実践報告会」として開催してきましたが、名称が長いこと、「実践発表」とすることで参加者の敷居を低くしたいとの思いで、今年度から「実践発表」としました。基調講演に兵庫県社会福祉協議会の荻田藍子氏をお招きし、「日頃の取り組みを実践報告につなげるために」として講演をいただきました。今年度の実践発表は1題にとどまりました。普段はケアマネとして従事している報告者による、「ソーシャルワークの基本的意義とはなにか」という根源的なテーマに関わる報告でした。

また後半では、2023年2月に調査研究委員会がひよこメーリングリスト登録者を対象に行った調査の報告をしました。今回の調査では、回答者の77%の回答者が学会報告の経験がない実態が示されました。一方、35%が学会報告に関心があると回答をしています。本会会員は実践研究・報告の経験が少ないという実態の一方、関心がある層も一定数いることが示されました。

【所感等】

日々の仕事の言語化 工夫学ぶ

荻田氏による基調講演では、研究者ではない、一実践者が実践を言語化すること、そのための工夫など、「なるほど、日々の仕事の中で言語化することを、このように捉えればよいのか」という気づきの多いお話でした。実践報告が日頃の実践と地続きであることを改めて確認することができました。

実践発表では、問題の焦点化、問いへのアプローチなど整理すべき課題も多いのですが、日々の仕事の中で生じる問いに向き合おうとしている様子を感じ取ることができました。最後に、調査研究委員会による会員への調査では、上記の他、実際に実践研究・報告をどのように進めればよいか分からない、という声も上がりました（自由記述回答の分析より）。この結果をもとに、会員による実践研究・報告の活性化に向け、調査研究委員会としてどのようなことに取り組めるのか、今後も模索を続けてゆきます。

開催日	2023年11月25日
参加人数	15名
開催方法	会場での実施
講師	材木 淳志氏（社会福祉士法人まいづる福祉会 ワークショップほのぼの屋）

【研修概要】

22年目のカフェレストランほのぼの屋 他

ワークショップほのぼの屋（就労継続支援A型事業所）【講演】

- まいづる福祉会の成り立ち（歴史）
- ほのぼの屋づくり（レストランをつくろう）
- ほのぼの屋ではたらく人たちの変化

舞鶴引揚記念館【見学】

【所感等】

「一流レストラン」の誇り感じた

丹波ブロックでは約4年ぶりに日帰り研修旅行を実施しました。社会福祉法人まいづる福祉会ワークショップほのぼの屋の代表者様に登壇いただき、まいづる福祉会の成り立ちからカフェレストランほのぼの屋がオープンした経緯、障害者が働き続けるためにほのぼの屋が取り組んでいることについて学びました。レストランの運営について、当事者は与えられた仕事をする「受け身」ではなく、当事者が考え「主体的に」取り組んでいる、当事者も「目的を持ち」仕事をしている、という言葉が印象的でした。

研修後、カフェレストランほのぼの屋でフレンチコースをいただきました。「障害者が働くレストラン」ではなく、「一流レストラン」として誇りを持って運営しているとの言葉通り、接客から料理まで、ほのぼの屋のプライドを肌で感じることができました。

舞鶴引揚記念館では、引き揚げやシベリア抑留に関する展示物・展示資料を観覧し、平和の尊さについて学びました。

2023年度後期こうのとりのゼミ② 「外国にルーツのある子どもと家族の学校制度・ 子育てを学ぶ～ネパール・フィリピン・ベトナム」

研修委員会 近藤 健太

開催日	2023年12月8日
参加人数	14名
開催方法	Zoomによるオンライン
講師	①ネパール…JICA 海外青年協力隊ネパールOV・神戸市立兵庫大開小学校 中村 寛子氏 ②フィリピン…フィリピンチルドレンズプロジェクト（PCP）代表 日本語教師 森口 郁子氏 ③ベトナム…JICA 関西 市民参加協力課専門嘱託 ファン・マイチャン氏

【研修概要】

文化の違いを学ぶ

今回は、JICA 関西のみなさまに、講師紹介の協力をいただきました。前半は、現地海外の体験を元に、その地域の教育制度の説明を聞き、後半は、ブレイクアウトルームに分かれて、分科会形式で講師を囲んで、参加者同士の交流を行いました。また、アフリカのマラウイ共和国の障害児教育の隊員の方や、中央アジアにあるウズベキスタンの小児がんセンターで勤務されている方も、オンラインで参加いただき、国際的な講座となりました。

【所感等】

異なる滞在の理由や背景 子どもたちに焦点を当てた支援

多民族国家のネパールでは、それぞれの名前や顔立ちで、お互いの民族を認識していること、鼻ピアスはお守りのため小さな女の子もつけていると。教科書は、日本の科目分けとは異なり、教師の方それぞれで、使い方が違うことを教えていただきました。

フィリピンでは、空軍が子どもたちの人気職業で、安定した雇用と豊かな給与体系が憧れの的であるそうです。

また、ベトナムの小学校は、朝7時15分から始まり、昼食後には昼寝の時間もあるとのこと。

そのような文化の違いだけでなく、それぞれの家族が滞日している理由や背景は異なり、その中で暮らす子どもたちに焦点をあてながら、それぞれの地域の中で暮らす家族への支援に、取り組まれていることに感銘を受けました。



主催：兵庫県

報告：兵庫県社会福祉士会事務局 胡中 智礼

開催日 2023年12月19日
参加人数 125名
開催方法 Zoomによるオンライン

【研修概要】

「医療的ケア児等コーディネーター」による初の取組報告会

医療的ケア児等コーディネーター養成研修の修了者を対象に、社会資源の理解とネットワークの構築を進めるために毎年1回開催しています。

前回実施時の参加者アンケートから研修テーマとして希望の多かった「保育園・学校」を取り上げ、コーディネーター養成研修の修了者3名にそれぞれの立場から取組報告を行いました。

3者の発表概要は下記の通り。

- ①保育園で医療的ケア児を受け入れるまでの体制づくりと、受け入れてから現在に至るまでの支援の状況や課題など。
- ②スクールソーシャルワーカーの概要や活動内容と、群馬県の医療的ケア児支援の取り組み状況など。
- ③特別支援学校教諭として、コーディネーター養成研修修了後の取り組み、他職種連携の必要性など。

【所感等】

具体的な取組発表 参加者に好評

保育園の看護師として園での受け入れ～現在までの流れをわかりやすくお話いただきました。「看護師配置」で受け入れ可能ということではない、受け入れる側（保育士等）の職員体制、事前研修や心の準備等も含めた体制づくりを丁寧に行い、整えていくことが必要であるということがよくわかりました。

当該研修の参加者の中ではスクールソーシャルワーカー（SSW）の認知度は高かったものの、SSWの具体的な取り組みや医療的ケア児等の支援についての話を聞く機会はありませんように思います。個人的には、福祉職の視点や大切にしていることなど、首肯する場面も多かったです。

福祉と医療の連携が謳われて久しいですが、福祉・医療・教育との連携はまだ道半ばという印象があります。そういう状況の中で、学校の先生も他職種と関わりを持ちたいと思っている、試行錯誤しているのだということをお話いただけたので、少し距離が縮まったのではないかと感じました。また、コーディネーター養成研修を修了した後に、情報収集等のために医療的ケア児支援の会議や研修をすることで、新たな出会いや繋がりができたという話も、コーディネーターとして今後どのような取り組みをすれば良いか迷っている人の参考になったのではないかと思います。

3者の発表+意見交換というスケジュールはタイトで、意見交換の時間を十分に取ることができませんでした。医療・福祉・教育それぞれの立場の人からお話いただけたので、大変好評な研修となりました。

主催：生涯研修センター 兵庫県社会福祉士会事務局 中山 貴之

開催日	2024年1月6日～1月7日	参加人数	18名
開催方法	会場での実施		
講師	高橋 萌氏 兵庫県精神保健福祉センター		
	木村 裕介氏 兵庫県弁護士会		
	中野 直子氏 神戸市精神保健福祉センター		
	田村 満子氏 たむらソーシャルネット		
	森保 純子氏 森のすず社会福祉士事務所		
	高木 慶子氏 兵庫・生と死を考える会		

【研修概要】

基礎知識やスキルの獲得を目指す

日本社会福祉士会にて開発された認証研修を、本会で初めて開催いたしました。

本研修は、ソーシャルワーク実践に従事する社会福祉士が、日常業務の中で希死念慮がある方々への支援を適切に行うための基礎的な知識やスキルを得ることを目的としています。

講義・演習内容は下記のとおりです。

講義1：自殺の実態と施策の動向

講義2：対象者の理解

講義3：社会資源の理解と活用① ～法律家との連携のコツ～

講義4：社会資源の理解と活用② ～精神科領域との連携のコツ～

講義5：自殺予防と権利擁護

演習1：自殺リスクが疑われる人への支援

演習2：自死遺族への支援

【所感等】

専門職としての姿勢について議論

演習では、日本社会福祉士会が開発したツールを活用し、自殺リスクが疑われる人が自殺を考えなくなるほど追い詰められた背景や、社会福祉士がどのような姿勢で向き合うべきかを考えました。そのうえで、クライアントの支援において、家族へのアプローチも念頭に置きながら、社会福祉士としてどのようなアセスメント（見立て）を行い、専門機関へつなぐか考えました。

高齢・障がい・児童などの分野関係なく、自殺リスクについて向き合う場面はあります。

そういう中で、社会福祉士として向き合う姿勢について活発な意見交換がされました。

また、自死遺族の方にエピソードを紹介していただきました。自死遺族の悲嘆に触れ、その思いを語ってくださり、一言一言が心にしみました。お話を伺い、私たち社会福祉士は、どのような姿勢で支援すべきなのかを考えることができました。

2024年度も開催を予定しています。



開催日 2024年1月17日 参加人数 7名

【実施内容】

「震度7、行きますね」 10数秒間の烈震

阪神・淡路大震災の経験と教訓を継承し発信する「ひょうご安全の日のつどい」が1月17日、神戸市中央区のHAT神戸・なぎさ公園で開かれ、災害福祉支援委員会のメンバーら7人で会場を訪れました。防災に関する展示ブースや体験コーナーをめぐった後、隣接する「人と防災未来センター」を見学しました。

「ひょうご安全の日」は、大震災をいつまでも忘れることなく、安全で安心な社会づくりを期する日として定められました。

追悼式典をはじめ、海上での救出救助訓練や応急処置訓練が実施されたほか、「交流ひろば」では、防災用品や備蓄物資の展示、住宅耐震化や室内安全対策の学習・相談コーナー、高校・大学の防災教育の実践紹介、「起震車」による地震体験といった多彩なプログラムが展開されました。

起震車に乗ってみました。「震度7、行きますね」というスタッフの声に、金属のバーをグッと握りしめます。ガタガタガタという音がしたかと思うと、ドーンと突き上げる揺れがいきなり、おなかの底まで響いてきました。ガラスや食器の割れる音が響き、掛けているメガネがずれそうになります。「これはあかん」。10数秒間の烈震。装置での体験だとわかっていても恐怖を感じました。

その後、連れ立って「人と防災未来センター」へ。毎月17日は入館無料です。西館は、阪神・淡路大震災の記録映像や壊れた街を模したジオラマ、資料を提供者の体験談とともに展示する「記憶の壁」など、後世に伝えることを意識した構成となっています。東館には、「BOSAIサイエンスフィールド」があり、VR（仮想現実）を活用して地震や風水害の現場を体験するコーナーや、リアルに再現されたコンビニで状況判断しながら避難につなげる訓練をする「ミッションルーム」など、いざというときに行動できる力を身につけられるような工夫が凝らされていました。最新の防災知識を楽しみながら学べる施設です。ぜひ一度、訪れてみてください。

元日の能登半島地震から始まった2024年。メンバーそれぞれが「今、自分にできること」に思いをめぐらせながら、帰途につきました。委員会では「交流ひろば」への今後の出展を模索しています。



2023年度後期こうのとりゼミ③ 「非正規滞在について」

研修委員会 綴木 くみこ

開催日	2024年1月19日
参加人数	12名
開催方法	Zoomによるオンライン
講師	原口 美佐代氏 (公社)日本社会福祉士会 多文化ソーシャルワークプロジェクトメンバー 社会福祉士・精神保健福祉士

【研修概要】

支援者として 社会福祉士として

ソーシャルワークの中でも、スポットが当たることの少ない非正規滞在について、講義頂きました。非正規滞在者とは、在留資格を有さない者ということ、すなわち住民登録が出来ず、どこにもいないことになっている困難な立場とのこと。社会保障も社会福祉も公的扶助も対象にならず、その上就労は禁止です。公的な手段がないため「～すればいい」と伝えることが難しい中で、支援者として出来ること、支援者のジレンマ、社会福祉士としてどうとらえていくのかを、教えて頂きました。

【所感等】

「悲しい気持ち」に寄り添う

こうのとりゼミ後期のテーマは「滞在外国人ソーシャルワーク入門」でした。生活困窮者支援委員会がテーマを決める際、15個のテーマの中から、あえて難しい非正規滞在を選んだのは「非正規滞在者の問題を、決してあきらめてはいけない」という熱い気持ちだったと伺いました。講師の原口氏の「ソーシャルーカーとして、たとえ解決方法がなかったとしても、悲しい気持ちに寄り添うことは出来る」という言葉が、とても印象に残りました。



開催日	2024年1月27日
参加人数	37名
開催方法	Zoomによるオンライン及び会場
講師	横山 智也氏 社会福祉法人 兵庫県社会福祉事業団 特別養護老人ホーム 朝陽ヶ丘荘 所長

【研修概要】

必要なサポートとは？ 実践学ぶ

障害者総合支援法における障害福祉サービスの就労支援には「就労継続支援」「就労移行支援」「就労定着支援」があり、それぞれ目的や内容が異なります。いずれも障害種別（身体障害・知的障害・精神障害・発達障害）を問わず、障害のある方が必要とするサービスを利用できるような仕組みになっています。一般企業などで働くことが困難な方が、福祉的就労の中で障害や体調にあわせて働く準備をしたり、働くための能力を向上したりするためのサポートを指します。現在、どのような実践が行われているか、今後どのような考え方や実践が求められているかについて学びました。

【所感等】

変化する就労現場 残る賃金格差

もともとは福祉工場から始まり、社会情勢にあった形態として就労現場も変化してきていますが、まだまだ賃金格差の問題もあることを知りました。就労支援にも様々な形態があり、その実際についても学ぶことが出来ました。Zoom参加の方も含め、活発な意見交換ができて、良い学びの機会となりました。



開催日	2024年2月3日
参加人数	80名
開催方法	Zoomによるオンライン及び会場
講師	長谷川 利夫氏（杏林大学保健学部リハビリテーション学科教授）

【研修概要】

「滝山病院」虐待事件の真相から

「滝山病院」の虐待問題や身体拘束問題に取り組まれている杏林大学・長谷川利夫先生をお迎えし、7団体協議会の代表者（当事者・家族会・支援者）を交えてパネルディスカッションを開催しました。長谷川先生からは、滝山病院だけでなく、精神病院が抱える閉鎖性、密室性、人権意識の欠如の指摘とともに、身体拘束の違法性と身体拘束をなくす取り組みの重要性について講演をいただきました。第2部のパネルディスカッションでは、当事者、家族、支援者の立場から滝山病院と神出病院に共通する課題や身体拘束をなくすために、それぞれの立場から取り組むべきことを話し合いました。

【所感等】

身体拘束をなくしていくために

精神科医療の現場で繰り返される虐待をなくすためには、身体拘束を許さない社会をめざして行く必要があります。このためには、私たちは様々な立場の方や組織団体と連帯していくことが重要であることを改めて確認しました。地域移行支援委員会は、7団体協議会と連携しながら、引き続き、精神科医療現場の問題に取り組んでいきます。



開催日	2024年2月17日
参加人数	51名
開催方法	Zoomによるオンライン
講師	神戸市発達障害者支援センター センター長 岡本 和久氏

【研修概要】

発達障害の基本的な理解・支援方法とは

発達障害は、1割程度の方にはその特性はありと言われており、発達凸凹があるがゆえに、様々な生きづらさを抱えておられます。その特性を理解し、環境を整えることにより、発達障害があっても生きづらは軽減され、その人の強みをいかして才能を発揮されている方も多くおられます。発達障害についての基本的な理解とどのように支援するのがよいかを考える機会を持ちました。

【所感等】

かけ橋となる役割の重要性を実感

発達障害は、生まれつき脳機能の発達に関係する障害といわれており、その人がどんなことができ何が苦手なのかどんな魅力があるのかといった「その人」に目を向けた支援が大切です。発達障害についての理解を深め適切な配慮やサポートを行うことで、障害のある方が日常生活や社会生活上で感じる困難や障壁が軽減でき、更にはインクルーシブな社会へと繋がっていく視点を持つことが重要であることを学びました。

医療・教育・就労支援等の各関係機関の役割、発達障害者支援センターの地域支援強化についての取り組みや発達障害児者支援地域協議会の実施状況等、神戸市の発達障害児者支援体制を伺いました。切れ目ない支援を継続することが大切であり、かけ橋となる社会福祉士の役割の重要性を実感しました。質疑応答では、実際に当事者の方から意見を直接お聞きすることができ、とても有意義な研修となりました。



開催日 2024年2月17日
開催方法 会場での実施
講師 川端 輝彦氏（パイクとそら代表取締役）

【研修概要】

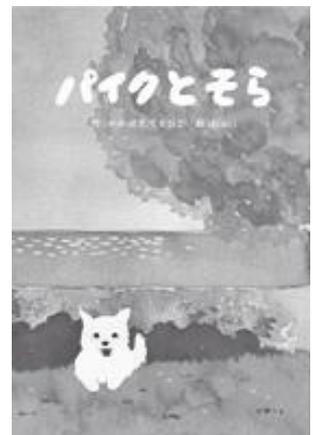
笑顔の揚げパンプロジェクト

阪急芦屋川駅近くに揚げパン専門店「パイクとそら」があります。2019年に脱サラをして始めた揚げパン屋さんです。ふわふわとやわらかく、もちりとした他店にはない最高の揚げパンで、新聞にも取り上げられるほどの人気のパン屋さんです。地域の宝である子ども達を笑顔にしたいという思いから始められた活動「笑顔の揚げパンプロジェクト」について、かわいい2階建てのお店にておいしい揚げパンと飲み物をいただきながらお話を伺いました。

【所感等】

子どもは地域の宝～子どもを笑顔に

「笑顔の揚げパンプロジェクト」では、レジカウンターのそばにかわいい募金箱を置いています。揚げパンを買いにこられたお客さんが少しずつ募金をしてくれます。そのお客さんの気持ちがこもった募金をもとに、母子生活支援施設と自立支援ホームに1か月に1回、無料の揚げパンを届けておられます。地域に根差した小さいお店だからこそできることは何か？と思案をし、地域の宝である子ども達を笑顔にしようという目的で始められました。現在は服の回収なども行い、揚げパンとともに届けられています。お店の名前の由来となった愛犬パイクとのふれあいや「パイクと空」の絵本のお話、このお店を始められた揚げパンとの出会い、子どもを笑顔にするという熱い思いなどのお話を聞きました。子どもたちが書いた寄せ書きをみせていただきましたが、感謝だけでなく、笑顔が想像できるメッセージであふれていました。地域に根付く草の根的な活動の大切さを改めて感じました。ぜひ、みなさんもお店をのぞいてみてください。



神戸市北区の地域ふれあい祭り 「まなぶ」に参加しました

相談委員会 垣内 信子・マドフォ 恵

開催日 2024年2月23日 10:00~13:00
参加人数 2名
開催方法 会場での実施
講師 相談員2名派遣 垣内 信子 マドフォ 恵

【実施内容】

「体験フェスタ」ふれあう つながる えがおのわ。

子どもたちの五感にアプローチすることで社会に生きる人々の多様性やサポートに関心を持ってもらうという、地域での試みに参加した。連休初日であり、また小雨の中での開催だったためか、中学校での開催にもかかわらず中学生の参加はなく小学生の低学年の子どもが多かった。子どもたちが社会福祉士の仕事をイメージしやすいよう、認知症の紙芝居を作成し見てもらったり、MSWやSSWほか社会福祉士の仕事をまとめた4コマ漫画のパネルを展示した。相談援助という仕事を理解してもらい、体験してもらうのはもう少し年齢の高い子どもでないと難しいようだった。

【所感等】

認知症の紙芝居 「感動した」子ども

各ブースが工夫をこらし子どもたちにアピールしていた。まずは関心を持ってもらわないと始まらない、各ブースの専門職としての福祉的支援の根幹を見ている気がした。新しく知ることに関心を輝かせている子や、自分が主体となっていることに威厳を持って対応する当事者の参加があったり、家族会の代表者からは「子どもたちには『支援者になって』と言うことではなく『知ってもらうことが大切』と言うことですね」と話をまとめて下さるなど、多くの方々にとって意義深い体験だったようだ。3分程度の認知症についての紙芝居を見て「感動した」とポツリと言葉にした女の子が印象に残った。



開催日	2024年2月10日 10:00~11:15
参加人数	13名
開催方法	会場での実施
講師	西村 百美氏（児童家庭支援センター加古川虹の丘 センター長）

【研修概要】

虹の丘の業務内容について

児童家庭支援センター加古川虹の丘は、社会福祉法人立正学園の一事業所であり、児童養護施設に併設されています。育児疲れのある保護者に対し、一時保育の受け入れを行ったり、園庭開放や子育て支援事業（子育てサークル）に参加した保護者からの相談を受けています。指導委託（施設入所までは要しないが、要保護性のある児童及びその家庭について指導措置を委託）は虹の丘が開所した当時から力を入れてきた事業の一つです。行政介入拒否の親と不登校の児童の家庭訪問を粘り強く行い、2年間かけて通常登校できるようになったという事例を紹介して頂きました。

また、社会的養護への取り組みとして里親及びファミリーホームからの相談に応じ、不足している里親支援専門相談員のサポートを行ったり、思春期の児童との関わり方に悩む里親を対象に研修を行っている等の報告もありました。

【所感等】

退所者の第二のふるさととして

講師の西村センター長は虹の丘開所前、同法人の児童養護施設の職員として長年勤務されました。職員体制は入職時から改善されてきており、4名の児童に対して1名の職員が付き、生活支援を行っているとのこと。相談員と心理士の配置が増員され、県や企業から補助金や寄付金を受けていますが、更なる社会的擁護推進のためには、依然として人材不足であり、資金面も十分でないこと等、現状と課題についてお話して頂きました。

また、児童にとって相談員・支援員はお母さん・お父さんの代わりとしての立場になります。成人し、施設を退所した後も学業・仕事や人間関係等の悩み相談のために連絡があったり、長期の休みに里帰りとして園を訪れることも多いとお聞きしました。元園児が園の先生に会って話すのを楽しみにして訪問したら、お世話になった先生の姿がなく、寂しい思いをしたということにならないよう、寿退職や配偶者の転勤による致し方ない退職以外は、園で継続勤務することの大切さについても語って頂いたことが印象的でした。

開催日	2023年11月11日～11月12日・12月10日
参加人数	107名
開催方法	会場での実施
講師	実習指導概論：山形 匡則氏（社会福祉法人明石市社会福祉協議会） 実習マネジメント論：山北 治彦氏（社会福祉法人やすらぎ福祉会） 実習プログラミング論：川島 恵美氏（関西学院大学） 実習スーパービジョン論：津田 克己氏（社会福祉法人 白百合学園） 西野 佳名子氏（兵庫県社会福祉士会事務局長）

【実施内容】

新カリキュラムに対応した内容

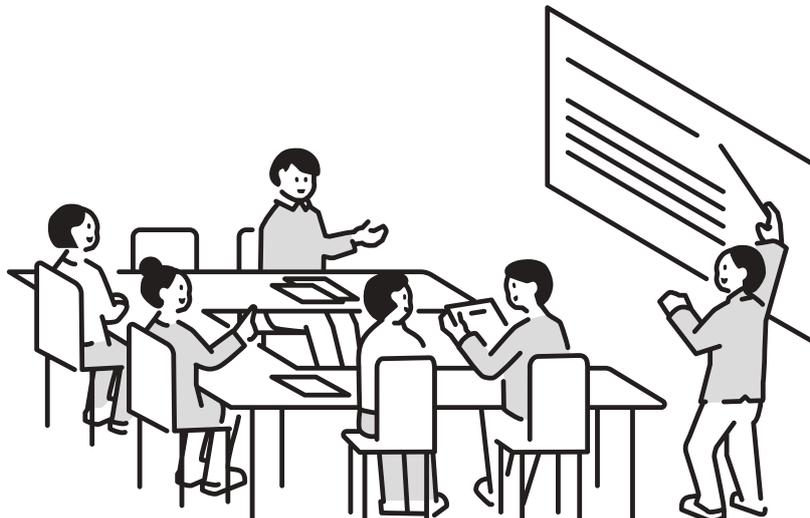
2012年4月から実習指導者の要件として、実習指導者を養成するための講習会の受講が義務付けられています。2021年から社会福祉士の養成カリキュラムが新しくなり、社会福祉士会が実施する実習指導者講習会は、2022年度より新カリキュラムに対応した内容となっています。本講習会は実習指導者の要件を満たす講習会として厚生労働省に届け出たものです。

【所感等】

1日目はZoom 2日目は集合形式でしっかり学ぶ

近畿圏内各地より多くの方々に参加して頂き、今年も100名を超える実習指導者が誕生しました。1日目はZoomを使用した講義、2日目は集合形式での講義及びグループワーク演習を行い、受講者の皆さんには実習指導概論、実習マネジメント論、実習プログラミング論、実習スーパービジョン論の4科目を2日間でしっかりと学んで頂きました。

分野ごとのグループワークでは、皆さん和気あいあいと、時に盛り上がりつつ受講されておられました。



開催日 2023年12月10日
開催方法 Zoomによるオンライン

【研修概要】

実習での困りごと共有

2013年から実施している社会福祉実習指導者講習会の修了者を対象に、2021年度から導入された新カリキュラム実習での困りごとなどを共有した。

- ・実習時間が延長され2箇所での実習が必要となっているが、別の実習先でどのようなことを学生が学んできたのか、または学ぶつもりなのかということの確認が難しい。
 - ・今までよりも、ソーシャルワークの機能を実習内容に盛り込む必要があるが、プログラムの組み立て方について悩んでいる。
- など、さまざまな意見が出た。

【所感等】

養成校教員も出席 改善の機会に

現場で実習指導をしておられる方々の混乱・悩みを共有することで、悩んでいるのは自分だけではないことがわかり、今後の実習受け入れについて少し勇気が出たと言う声も聞くことができた。また、社会福祉士養成校からも一部出席いただいたことで、現場の困りごとや現場から養成校への要望などを養成校側にも聞き取っていただき、今後の改善等を検討していただくための機会となったのではないと思う。今後の実習指導の一助となるような会となった。



明石・加古川エリア 森保 純子

開催日 2024年2月14日
開催方法 会場での実施
講師 幸地クリニック 中元 康雄氏
(精神保健福祉士・臨床心理士・産業カウンセラー・公認心理師)

【研修概要】**『買い物依存』 理解と対応学ぶ**

「行動嗜癖（しへき）としての買い物依存の基本的理解と対応」をテーマに講師として、幸地クリニック 中元康雄氏をお招きし、講義とグループワークにより見識を深め、後見業務に携わる司法書士と社会福祉士の交流を図るために開催。

【所感等】**「9つのし過ぎる」 支援見直す機会に**

買い物依存を中心に、依存傾向にある人への対応について学びました。後見業務では、財産管理や身上保護の面で、本人よりも先に将来を案じて、行動を制止したり抑制しようとしがちです。講義のなかで『家族にありがちな「9つのし過ぎる』』として、先に言い過ぎる、正しいことを言い過ぎる、答えを出し過ぎる、先回りして考え過ぎる、事実をきちんと見せていなさ過ぎるなどがあげられていました。これらは、後見業務の中でも「本人を守るため」といいつつ、私たちがいつのまにか陥りやすい姿のように思います。依存傾向にある人について、そうなった環境に本人が耐えたり頑張ったりして生きてきた故に、今に至っていることに考えを及ぼすことも大切だと思いました。本人中心の支援、本人を尊重し、尊厳を守るための支援について、自分の支援を見直す良い機会になる研修でした。



神戸ブロック (ブロック長 中尾 美隆)

【活動報告】

- 2月17日 Zoom ブロック研修会「発達障害の理解と支援」
- 3月7日 加古川刑務所 施設見学会

2月17日のブロック研修会には51名の方に参加いただき、活発な意見交換もありました。

3月7日は定員を超える方からお申し込みをいただき、一部お断りをした方もありましたが、参加した皆さまからは有意義な見学会であったとお声をいただきました。

【活動予定】

- 6月2日 兵庫県福祉センター ブロック総会・記念講演会

ブロック総会の案内は4月末～5月初旬頃、郵送予定です。記念講演会は日本障がい者ファッション協会の平林氏をお招きする予定です。当日も素敵なファッションでお越しいただくことになるかと思っておりますので、皆様ぜひ福祉センターにお越しください。

その他、春の交流会なども企画予定です。こちらはFacebookやメーリングリストでお知らせいたします。

【お知らせ】

- Facebook (フェイスブック) しています。 検索：兵庫県社会福祉士会神戸ブロック
- 神戸ブロックのメーリングリストへのメールアドレスは下記の通りです。
kobe.block.fukushishikai@gmail.com

阪神ブロック (ブロック長 中原 克子)

【活動報告】

- 2月17日 パイクとそら ナイトカフェ 川端輝彦さんを囲んで揚げパンを食べながら語ろう
- 2月18日 つどい場けあわーく ヤングケアラーの居場所づくり
- 2月23日 Zoom クリニカルアート
- 3月9日 Zoom ナイトカフェ (薬剤師さんのお話)
- 3月13日 Zoom 役員会

【お知らせ】

5月下旬に阪神ブロック総会を予定しています。

ブ

ロックインフォメーション ③

東播ブロック (ブロック理事 岩西 太一)**【活動報告】**

- 2月13日 Zoom 集い場「地域福祉について情報交換」
- 2月27日 Zoom R6 東播地区ブロック総会打ち合わせ、役員選挙など
- 3月9日 加古川市総合福祉会館 社協のこと、本当に知っていますか？

【活動予定】

- 6月未定 第16回東播地区ブロック総会、記念講演

ブ

ロックインフォメーション ④

西はりまブロック (ブロック長 岸 剛健)**【活動報告】**

- 1月27日 姫路地場産業ビル 西はりまブロック研修について。
- 2月3日 上郡 西はりまブロック総会について。
- 3月16日 姫路地場産業ビル 西はりまブロック総会について。

【活動予定】

- 5月12日 姫路地場産業ビル 西はりまブロック総会・記念講演
(沼野尚美氏 宝塚市立病院緩和ケア病棟チャプレン・カウンセラー)

【お知らせ】

西はりまブロックでは毎月最終金曜日19:00よりプレミアムフライデーと題し、Zoomによる交流会を開催しております。西はりまブロック以外の方もお気軽にご参加下さい。出入りは自由です。



研修委員会

委員長 綴木くみこ

【活動報告】

- 2月17日 Zoom 開催 第11回研修委員会
- 3月16日 Zoom 開催 第12回研修委員会

研修委員会は、毎月第3土曜日の18:30より、Zoomにて開催中です。興味のある方は、ぜひご参加ください。現在、令和6年度後期のこのとりゼミのテーマを募集中です。

【今後の予定】

- 4月20日 Zoom 開催 令和6年度第1回研修委員会
- 5月18日 Zoom 開催 第2回研修委員会
- 6月14日 Zoom 開催 令和6年度第1回このとりゼミ
- 6月15日 Zoom 開催 第3回研修委員会
- 7月12日 Zoom 開催 第2回このとりゼミ

調査研究委員会

委員長 竹森美穂

【活動報告】

- 1月11日 実践発表会
- 1月23日 Zoom
研究誌発行について、次年度実践発表会について

【お知らせ】

長らく休刊していた研究誌『兵庫社会福祉士』の発行を再開します。

新たな研究誌では、皆さんの日々の活動に根ざした「実践報告」を重視します。皆さんの投稿が、会員相互の学び合いになるものと期待しています。執筆要領など詳細はホームページをご確認ください。皆さんからの投稿をお待ちしています。

「ソーシャルワーク実践から理論を読み解く」をテーマに活動しています。いろんな分野で活躍している方が参加しています。学習会では、メンバー持ち寄りのテーマで参加者全員で意見交換をしています。

*興味のある方はいつでも体験可能です。お待ちしております。

【活動報告】

- 1月14日 Zoom コアメンバー会議
- 1月14日 Zoom 委員会 学習会テーマ
「意思決定支援の難しさ～障害のある子どもとその家族への関わりを通して」

- 3月10日 Zoom コアメンバー会議
- 3月10日 Zoom 委員会 学習会テーマ
「1年の振り返り 学習会のアンケートを質的調査で分析してみる」

【今後の予定】

- 5月12日 Zoom コアメンバー会議
- 5月12日 Zoom 委員会 学習会テーマ
今年度の委員会開催予定日（奇数月の第2日曜日 10～12時）
2024年5月12日、7月14日、9月8日、11月10日、2025年1月12日、3月9日

【活動報告】

- 11月24日 Zoom オンライン
出席14名、来年度委員会事業計画
予算案についてほか

- 1月24日 Zoom オンライン
出席15名、児童家庭
支援センターとの委員
会内学習会開催につ
いて、情報交換ほか



- ・2月10日 10:00～12:00 兵庫県福祉センター202号室
児童家庭支援センター「加古川虹の丘」と
の学習会（13名参加）

【今後の予定】

- ・認証研修「スクールソーシャルワーカー養成研修」
4月27日（土）・28日（日）予定 オンライン開催
日程及び講師調整中

【活動報告】

1月24日 Zoom 下記にまとめて記載
3月23日 Zoom
・今年度実習指導者講習会振り返り・オンライン交流会振り返り・フォローアップ研修検討・養成校連絡会検討・近畿ブロック実習班の動きの確認・次年度実習指導者講習会日程確認等を行った。

【今後の予定】

平日夜にZoomで開催することが多いです。お気軽にご参加ください。

【お知らせ】

実習教育支援委員会では、次代を担う方々の育成するための実習のあり方を養成校の皆さんと意見交換をしたり、実習指導者を養成するための講習会を主催したり、現に実習指導をしている方々へのフォロー方法を検討したり、養成校の皆さんと実習指導者とを橋渡ししたりなどの活動をしています。

皆様のご意見をこれからの実習教育に反映させませんか??一緒に活動していただける方を随時募集しております。お気軽にご連絡ください。

もっと「福祉」の専門性や視点を 委員会名を変更

【お知らせ】

「災害福祉支援委員会」は、「災害支援委員会」から名称を変更しました。被災地への支援や平常時の防災活動に「福祉」の専門性や視点をもっと取り入れたい、との思いを込めました。33ページの特集『防災いいな(1.17)災害に強いソーシャルワーカーへの道』(創刊準備号)もご覧ください。

災害福祉支援委員会は、奇数月の第1火曜の夜にZoom会議で、また週末を中心に随時集合形式で開催しています。

メンバーも募集しています。お気軽にご参加ください。

メーリングリストのお知らせ

研修やイベント等の開催にあたり、台風等の自然災害により開催日時が変更になる場合があります。緊急のお知らせは「ひよこメーリングリスト」で発信しますので、登録しご確認できるよう、宜しくお願いいたします。

【メーリングリストに登録して便利なこと】

- メーリングリストに登録している全会員に対して、一斉に且つタイムリーに研修や職員募集等の情報を配信できます。
- こうのとりに通信への記事掲載が間に合わないなど、一部の情報はメーリングリストでしか配信されないものもあります。
- 災害時においては、会員の安否確認や被害状況の共有もできます。

【メーリングリスト利用の注意点】

- ご登録いただいているメールアドレスへの配信が何らかの理由で5回エラーが記録されるとシステム上、自動的に登録解除となります。
- 他者への誹謗中傷、公序良俗に反するものでなければ情報配信いただけますが、メーリングリストは情報共有がメインとなるためディスカッションの場として活用することをご遠慮ください。また、メーリングリストへの投稿がふさわしい内容か配信前に今一度ご確認ください。
- メーリングリストには携帯電話のアドレスで登録している方もいるため、早朝・深夜の時間帯はなるべくお控えください。

【ひよこメーリングリスト登録方法】



1. 「兵庫県社会福祉士会」のホームページにアクセスします。

URL : <http://www.hacsw.or.jp/>

※ スマートフォンからもアクセスできます。

QR コードはこちら ⇒



2. 「メーリングリスト登録フォーム」のボタンをクリックします。

3. 登録申込フォームが開くので、会員番号・氏名等の必要事項を記入し、「送信内容を確認する」ボタンをクリックします。

4. 入力内容を確認し、間違いがなければ「送信」ボタンをクリックします。

※事務局で会員確認した上での登録となりますので、即日登録できないことをご了承ください。

障害年金 原則20歳～64歳で病気やケガで障害をお持ちの方が申請可能です！

このようなことでお困りなら・・・



初回面談無！

初回面談では申請に関わる要件・受給の見込みや金額などをお答えします

ほとんどの病気やケガが対象です

精神疾患	うつ病・双極性障害・統合失調症・知的障害・発達障害・高次脳機能障害・認知症・てんかん など
内臓疾患	がん・心筋梗塞・心不全・大動脈解離・ペースメーカー・肺炎・慢性肝炎・腎臓病・糖尿病・人工透析・ぜんそく など
肢体障害	脳梗塞・脳出血・リウマチ・人工関節・交通事故やケガの後遺症・切断・ヘルニア・脳性麻痺 など
眼・耳	弱視・網膜症・緑内障・難聴 など
その他	メニエール病・難病・線維筋痛症 など

～選べる つの相談室～ お近くの相談室へお電話ください

本社西宮相談室
阪神西宮駅徒歩3分



神戸三宮相談室
三ノ宮駅徒歩3分



姫路相談室
姫路駅徒歩5分



大阪相談室
野田駅徒歩3分



牧江社会福祉士事務所 社会保険労務士法人牧江&パートナーズ

併設：兵庫・大阪障害年金相談センター
〒662-0971 西宮市和上町5番9号 西宮ビル



うすき行政書士事務所

(うすき社会福祉士事務所併設)

いずれかに当てはまる方は是非一度お問い合わせください！

- 福祉サービス事業所を立ち上げたい。
- 新しく会社やNPOを興したいと考えている。
- 認定NPO等の準備を考えている。
- 社会福祉法人・医療法人を設立したい。
定款変更・規則作りなど運営内容に助言がほしい。
- 保育所・認定こども園をやりたい。
- 成年後見を活用したほうがいい方がいる。
- 遺言書、遺産分割、相続手続きに悩んでいる。

《業務内容のご紹介》

- ・各種公益法人(社団・財団・社福・医療)の設立手続き
- ・株式会社、NPO法人など設立手続き
- ・障害福祉サービス事業の手続き
- ・介護・障害サービス等の設立手続き等
- ・介護タクシーの許可取得
- ・遺言書、遺産分割協議書作成
- ・相続対応や成年後見制度の活用など
- ・クーリングオフなどの内容証明郵便作成
- ・訪問介護等の駐車許可申請などの自動車関係
- ・その他、契約書や覚書作成の事実関係業務 など(弁護士、司法書士、社会保険労務士、税理士等と連携して業務を行うこともあります)

ご相談はこちらまで。
どこでも駆けつけます！



行政書士のマスコットキャラクター ユキマサくん

お電話はこちら！

0798-34-3999

090-9264-7594

sp8c6h89@aurora.ocn.ne.jp

これからも初心を忘れず

うすき行政書士・社会福祉士事務所 (大口事務所 併設)

兵庫県西宮市本町7番15号

(阪神西宮駅南 徒歩5分 西宮えびす神社そば)

兵庫県行政書士会・兵庫県社会福祉士会 会員

※行政書士法第1条2行政書士は、他人の依頼を受け報酬を得て、官公署に提出する書類、その他権利義務又は事実証明に関する書類を作成することを業とする。(行政書士は業務独占です。行政書士以外の者が他人の依頼を受け報酬を得て業務を行うと行政書士法違反になります。)

高年齢者・障害者虐待対応委員会と各種研修

令和6年度が始まりました。新しく虐待対応にかかわるお仕事に就かれた方、事業所で後輩職員ができた方、リーダー職や管理職として職員への助言や指導を担うことになられた方、新しく事業所を開業された方等、今年から新たな立場になられた方も多いと思います。

福祉専門職にとって、利用者さんの権利をまもることというのは、安心な暮らしを実現するために必要で大切な仕事です。しかし「虐待対応って、難しい」という声もよく聞き、現場の中では多くの方が迷いながら対応されているのでしょうか。

虐待対応は、法制度の理解と当事者やご家族、他の支援者等への理解やアセスメントの知識が必要であるため、1人で研鑽することはなかなか難しいものです。当委員会では、それぞれの立場によって学べる虐待対応力向上研修各種を、兵庫県からの委託事業として開催・運営しています。今年度も開催しますので、ぜひ受講をご検討ください。(各研修詳細は、決まり次第兵庫県社会福祉士会ホームページ等にてお知らせいたします。以下の内容は、令和5年度研修を元にした情報です)



～ 高年齢者虐待対応力向上研修 ～

A研修(基本)：高年齢者虐待について、発生状況の把握、法制度の理解、発生要因や基本的な対応について理解するための、基本編です。虐待対応について学ぶ方は、まずはA研修から始めてください。B・C研修の受講はA研修を受講していることが条件です。A研修はオンデマンド開催です。

B研修(施設)：高年齢者福祉「施設」サービス事業所職員を対象とする、虐待の早期発見や予防推進を図るための研修です。事業所内で必要な虐待対応について学ぶとともに、施設の中にある不適切な対応や虐待の芽に気づく力を養います。「受講委員の声：それぞれの立場や役割を理解し、目標を明確にして連携し、対応していく重要性が学べる研修です」

C研修(在宅)：高年齢者福祉「在宅」サービス事業所職員を対象とする、虐待の早期発見や予防推進を図るための研修です。当事者への対応を学ぶとともに、養護者を支援する視点についても学びます。「受講委員の声：在宅支援における役割を理解し、支援者が連携し、目標を立てて対応することの重要性が学べる研修です」

D研修(行政・包括)：市町職員、地域包括支援センター職員等の高年齢者虐待対応現任者を対象とします。通報への対応や、虐待の未然防止や養護者支援について学びます。

(受講委員の声)シリーズを通して受講し、幅広く知見を得ることができました。皆さんにもA～Cまでの通しの受講をお勧めします。

～ 障害者虐待対応力向上研修 ～

A研修(基礎編)：障害者虐待について、発生状況の把握、法制度の理解、発生要因や基本的な対応について理解するための研修です。虐待対応について学ぶ方は、まずはA研修から始めてください。B・C研修の受講はA研修を受講していることが条件です。A研修はオンデマンド開催です。

B研修(基礎演習)：現場で直接支援を担う障害福祉サービス事業所職員等を対象に、演習形式で虐待対応について考え学ぶ研修です。「受講委員の声：参加者は所属も分野も様々でいろいろな立場からの意見が聞くことができ、参考になりました」

C研修(応用演習)：障害福祉施設・サービス事業所の管理職、サービス管理責任者、相談支援専門員を対象に、演習形式で虐待対応について考え学ぶ研修です。「受講委員の声：管理者という立場は、利用者を守ることはもちろん、職員と事業所を守る視点も強いものですが、早期発見と通報によってみんなが救われることを認識できました」

D研修(行政)：行政職員や基幹相談支援センター等虐待対応を行う機関職員を対象に、関連法令や実際に発生した際の対応や関係機関連携について学ぶとともに、演習によって対応を考える研修です。



もう一度確認しましょう！虐待5類型



もしかして虐待？と思ったら、行政・包括等へ相談を！

身体的虐待：高齢者や障害者等（以下、本人）の身体に傷やあざ、痛みを与える、その可能性がある行為を行うことです。殴りかかったり物を投げつけたりなど、結果として本人の身体に接触しない行為も該当します。また部屋に閉じ込める等正当な理由なく行動の自由を奪うことも身体的虐待に当てはまります。

介護・世話の放棄・放任（ネグレクト）：必要な介護や世話をしない、介護サービスを受けさせないことです。同居人による虐待行為を止めずに見ないふりをして放置する、本人が不衛生な環境での生活が余儀なくされていることも、該当します。

心理的虐待：本人が精神・心理的に苦痛を受けるほどの暴言や拒絶的な対応や言動を行うことです。本人が大切にしているものを乱暴に扱ったり壊したり、捨てることなど、ご本人が嫌がることをわざとすることも該当します。

性的虐待：本人にわいせつな行為をすること又は強要することです。無理やり性的な映像画像や行為をみせることや、人前で着替えやオムツ交換をするなど、本人の羞恥心に触れる行為も性的虐待にあてはまります。

経済的虐待：本人の金銭や財産を勝手に使用したり処分することや、本人の希望する日常生活に必要な金銭の使用を理由なく制限したりすることです。金銭を寄付・贈与するよう強要する、立場を利用して不当に金銭を借りるなども該当します。

高齢者・障害者虐待対応委員会の動き (2023年12月～2023年2月)	
日付	活動内容
【講師派遣】	
12月4日 1月10日	神戸市 障害 障害者支援施設
1月12日	神戸市 高齢 行政・専門職・地域
1月19/26日	神戸市 障害 障害者支援施設
2月16日	神戸市 高齢 介護支援専門員
2月17日	神戸市・明石市 高齢 介護事業所
【専門職チーム派遣】	
2月8日	神戸市 高齢
2月13日	丹波市 高齢
2月14日	豊岡市 高齢
2月20日	神戸市 高齢
【弁護士とのワーキング】	
12月25日	通常ワーキング
2月19日	市町との意見交換会・通常ワーキング
【県委託向上研修】	
12月～2月	障害 A 研修（オンデマンド）
12月8日	高齢 C 研修（姫路）
1月23日	高齢 B 研修（Zoom）
2月6日	高齢 C 研修（Zoom）
2月15日	高齢 D 研修（Zoom）
【定例委員会・臨時委員会】	
12月21日	定例委員会/Zoom 会議
2月18日	定例委員会/Zoom 会議
【相談員派遣】	
毎月第1・3・5 火・木曜日	兵庫県弁護士会主催 「高齢者・障害者のための弁護士 電話法律相談」

おすすめ Book

オー！ファーザー

著者：伊坂 幸太郎
出版社：新潮社



大好きな作家さんのお一人、伊坂幸太郎さん。ここでは「オー！ファーザー」を紹介します。ぜひ、息抜きに、伊坂ワールド満載の癒やしの一冊をお薦めします。

主人公は高校二年生の男子、六人家族のお話し。六人家族と聞くと、兄弟が多いのか、三世帯家族なのかと考えますが、そんなことはありません。主人公と母親一人、父親四人の六人家族です。

それぞれ、年齢、特技やタイプが違う四人の父親。絶妙な父親同士の日常や親子の関係性がなんともいえず、この多様な世の中に、一石を投じます、という訳ではありませんが、六人が一つ屋根の下で暮らす物語は、何度も顔がほころび、笑い声が漏れてしまいます。そして最後には、感動の涙がこぼれます。

タイプの全く違う父親ですが、妻（主人公の母）を思う気持ち、息子を思う気持ちは見事に一致しています。ひょんなことで事件に巻き込まれる主人公を四人の父親は救うことができるのか、また、母親はどのような存在なのか、未だこの物語に触れていない方は、ぜひ癒やされて下さい。

高齢者・障害者虐待対応委員会
榎本 昌起

防災いいな 1.17



災害に強いソーシャルワーカーへの道

第0号（創刊準備号）

発行：兵庫県社会福祉士会 災害福祉支援委員会広報チーム

大震災を経験したこの地で活動する社会福祉士として

委員長 西野佳名子

「災害福祉支援委員会」は2017年に「災害支援委員会」として発足し、2023年11月にその名称を「災害福祉支援委員会」に変更しました。被災者の方々に「福祉」の専門性を生かした支援を届けたい、また発災後のみならず平常時からの防災に「福祉」の視点を取り入れたい、そんな思いから改称しました。

各地で近年、広域にわたって甚大な被害をもたらすような自然災害が頻発しています。東日本大震災や西日本豪雨といった災害の際に、一人で避難することが難しい人たち——その多くは、福祉専門職が日常的に関わっている高齢者や障害者の方々です——に犠牲が集中している実態が明らかになり、一人でも多くの命を救うべく、国も災害関係法制度の整備を進めています。私たち社会福祉士が新しく学ばなければならないことが増えています。



「災害福祉支援委員会」では、被災地で期待される社会福祉士の役割や現地ニーズの把握の方法、アセスメントなどについて学ぶ「災害支援活動者養成研修」（認証研修）をはじめ、兵庫県が実施する「防災と福祉の連携による個別避難計画作成促進事業」などに協力してきました。今後はさらに、一般県民の防災意識の向上や地域防災活動の啓発につながるイベントを企画・運営していこうと考えています。

この誌面『防災いいな（1.17）』は、1995年1月17日に発生した阪神・淡路大震災を忘れずに委員会活動を続けていくことを決意して名付けました。自然のすさまじい脅威、避難所生活の厳しい実情、「ボランティア元年」と称された全国からの支援、崩れた街がたどった復旧・復興の道筋など、「1.17」は、私たちの意識を決定的に変えました。この大震災を経験した兵庫県で活動する社会福祉士として、「災害に強いソーシャルワーカーになろう！」を合言葉に、情報発信していきます。

どうぞよろしく申し上げます。



■ 認証研修「災害支援活動者養成研修」プログラム 近畿ブロック（2府4県）社会福祉士会共催

①「ソーシャルワーカーによる災害支援（支援者と受援者の想いにふれて）」（講義 90分）

社会福祉学分野が、災害における支援をどのように捉えてきたかを理解する。災害時のソーシャルワークについて、社会福祉士の倫理綱領・行動規範と照らし合わせながら価値や原則に基づいた社会福祉士の立ち位置の獲得を促す。被災者心理を学び、災害支援活動に役立てる。また、支援者自身の疲労やストレスを理解し、継続的な支援を行えるようにする。

②「要援護者支援のための災害救助法と支援制度」（講義 90分）

災害時における法・制度を学び、災害時にどのような方法で情報収集するか等、被災地でネットワークを構築するために必要な知識を獲得する。要援護者がどのようにして必要な制度にたどりつけるかを考える。

③「日本社会福祉士会の災害支援活動と県士会の取り組み」（講義 90分）

日本社会福祉士会が職能団体として東日本大震災時に行った被災地支援活動から、災害支援時における社会福祉士の立ち位置について理解を促す。支援活動を行う社会福祉士と各組織の関係を理解する。

④「専門職団体の支援活動（DMAT〈医療専門職の災害派遣チーム〉の活動紹介）」（講義 90分）

災害医療の歴史と最新の災害医療を学び、発災時の多職種連携の必要性と災害支援チーム内の役割分担の実際について理解を促す。発災時の専門職の果たすべき役割と職能団体としての支援のあり方を考える。

災害派遣医療チーム
Disaster Medical Assistance Team



⑤「避難所の実際（避難所の暮らしと福祉活動、福祉避難所の実態について）」（講義・演習 90分）

避難所生活の実際を知り、避難所での暮らしの変化と生活課題の変化を理解した上で、優先順位を決めて具体的な支援方法を検討するグループワークをする。

⑥「災害対応ガイドライン・マニュアルの理解」（講義・演習 90分）

災害対応ガイドライン・マニュアルについて、支援活動にあたって必要な対応や減災のための体制整備の理解を促す。災害支援活動者として必要な「姿勢」とは何かを理解し、災害に強い社会福祉士会を作るための体制準備について具体的な理解を促す。

⑦「災害支援の実際Ⅰ（災害ソーシャルワークにおける積極的ニーズ把握・アセスメントについて）」（講義・演習 90分）

発災時の初期段階でソーシャルワークの展開過程に行われるアウトリーチにおけるニーズキャッチ、個別アセスメントの過程に焦点を当て、福祉・生活支援の視点から生活ニーズの把握およびスクリーニング等、ソーシャルワークに期待される機能とその実際についての理解を促す。過去の社会福祉士会における災害支援現場での実践を踏まえ、ステージに応じて求められる支援活動者の役割を理解する。

⑧「災害支援の実際Ⅱ（アセスメントシート・企画シートを使った住民主体の地域ネットワークづくりについて）」（講義・演習 90分）

複数の支援者が、長期にわたる支援を継続するために必要な方法について理解を促す。被災地域におけるネットワーク再構築を想定し、企画シートの内容を考える。



「災害支援活動者養成研修」の受講者数は、2018年度 96人、2019年度 71人、2022年度 21人の計 188人（2020、2021年度はコロナ禍のため中止）です。2023年度はプログラムの改訂作業などのため休止されましたが、2024年度は開催に向けて検討が進められています（時期未定）。

【オンライン研修の受講方法・注意事項（2024年度版）】

オンライン研修を受講いただくにあたり、事前に準備いただきたい事項・使用機器等についてご案内いたします。

★Zoom アプリのダウンロード（Zoom 初回利用時のみ必要）

本会のオンライン研修では、Zoom ミーティングを使用します。

研修受講日より前に、余裕をもって Zoom アプリを下記 URL からダウンロードしてください。

<https://zoom.us/download> 「Zoom デスクトップ クライアント」の「ダウンロード」をクリック。

なお、研修を受講するだけの場合、Zoom アカウントの取得（サインアップ）は不要です。

★使用機器の確認

受講にあたっては、下記の機器の用意をお願いします。原則としてパソコンで参加してください。

- ・ ウェブカメラ：自分の顔を写すために必要
- ・ マイク：自分の声を相手に届けるために必要
- ・ スピーカー：相手の声を聞くために必要。ヘッドホンやイヤホンでも代用可。

※研修受講時に使用するパソコンに上記3点が備わっているか確認ください。

装備されていない場合は別途ご準備ください。

★通信環境の確認

スマートフォンの回線では、契約内容によっては通信上限を超える場合があることや、通信回線の混雑等でオンライン研修に参加できない可能性もあるため、光ファイバー網を使った通信回線を推奨します。
※通信環境により、講義の内容が聞こえ難くなる場合があります。安定したインターネット環境（できれば有線 LAN 接続）での受講をおすすめします。

※本研修に参加いただく際の通信料およびインターネット接続、通信機器利用に関する料金については、各自負担でお願いします。

※使用機器のアップデートなど余裕をもって行い、受講当日の機器内の環境を整えておいてください。

★事前テストについて

Zoom アプリをダウンロードしたら、事前に接続テストを行うことをお勧めします。

<https://zoom.us/test>

★その他

受講者の通信環境、通信機器の原因により、当日参加できない場合の返金はいりませんので、予めご了承ください。

■ 受講時の注意事項

1. 講義中の Zoom 設定について

オリエンテーション・講義・演習中は、原則「ビデオの開始」状態にしておいてください。
認証研修では、音声・ビデオ通信等により双方向性が担保されることが必須条件です。

2. 出席確認・修了要件について

受講証の発行はせず、オンライン上で出席の確認をし、事務局にて出席管理をします。

10分以上の遅刻・早退があった場合は、研修修了として認められません。

オンライン研修時の通信不良により画面が映らない、音声が届かない場合も離席扱いになります。
長時間そのような状況が続く場合は修了できません。

車を運転しながら・歩きながら・移動しながら・公共機関を利用しながら・商業施設や公共の場所を利用しながらの受講は認められません。

3. 欠席について

研修は原則、全日程の受講が可能な方を対象としています。

研修日をご確認の上、お申込みください。

※振替受講、再履修については、研修ごとに要件が設定されていますので、各研修担当者にお問い合わせください

4. 課題について

科目によって、事前課題・中間課題・科目修了レポート等があります。

原則として期日までに課題の提出がない場合や課題内容に不備がある場合は、講義出席が認められない又は修了が認められません。

詳細は受講決定時にお知らせします。Word・Excel・PDF ファイルのオンライン提出を原則とします。講義中に、作成した事前課題等を画面共有する場合がありますので、ご了承ください。

5. 講義資料について

各講義資料は、講義1週間前を目途に指定 URL へ掲載します。

受講生各自でのダウンロードもしくは印刷をお願いします。

事務局より印刷・郵送は致しかねますのでご了承ください。

6. 受講時および研修資料に関する禁止事項

研修中、以下の事項を禁止としております。

- ・研修実施時の写真撮影、録画、録音、またはそれに準ずる行為
- ・本研修受講やご本人様の復習以外の目的での研修資料の使用

例1. 研修で使用する資料ファイルを社内外の方に共有すること

例2. 研修で使用する資料の画像などを公開すること

例3. 研修で使用する資料を複製すること

(問い合わせ先) 一般社団法人 兵庫県社会福祉士会事務局

〒651-0062 兵庫県神戸市中央区坂口通 2-1-1 兵庫県福祉センター 3F

TEL: 078-265-1330 FAX: 078-265-1340

■研修資料の著作権について

本会が主催する研修では、研修に参加される方の学びを深め、研修の目的を達成するために、参加者に直接あるいはインターネットを通じてデータをダウンロードしていただくなどの形で、さまざまな研修資料を配布しています。

これらの配布資料は、著作権法により著作者の権利が保護されています。したがって、著作者が明示的に許可した場合を除き、研修参加者が著作権法に認められている範囲を逸脱して再配布することや、ダウンロードサイトの URL を転送、SNS等での共有、別のサイトにアップロードする方法により再配布することは、法律に抵触する可能性があります。場合によっては訴訟等に発展する恐れがあり、社会福祉士に対する社会の信用を失墜させることにもなりかねません。十分にご注意ください。

なお、レポートや論文等で著作物を使える場合およびその条件については、次のサイトをご覧ください。著作物を引用する場合は、これらの法律を順守してください。

【文化庁 著作物の正しい利用方法】

<https://www.bunka.go.jp/seisaku/chosakuken/seidokaisetsu/gaiyo/riyohoho.html>

■本会主催研修申込における個人情報の取り扱い等に関する注意事項

個人情報の利用目的

研修申込をいただく際に、名前、住所、電話番号、e-mail アドレス等の個人情報を入力いただきますが、これらの個人情報は、各研修を運営する目的以外では利用いたしません。

個人情報の第三者への開示・提供の禁止

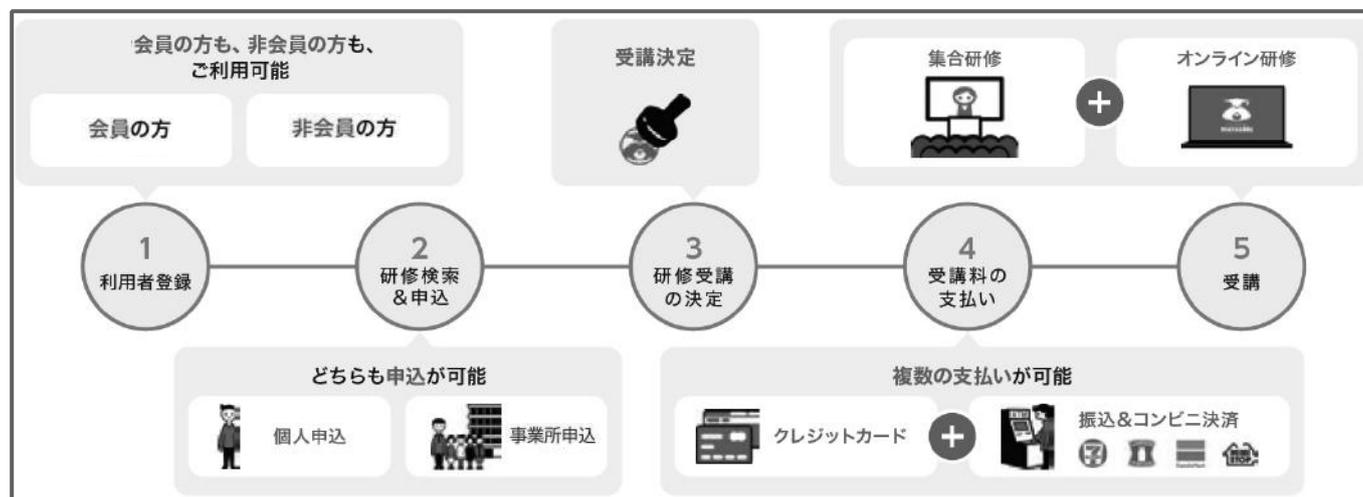
本会では、次のいずれかに該当する場合を除き、個人情報を第三者に開示致しません。なお、業務委託先への提供の場合は第三者への開示または提供にあたりません。

1. 受講申込者の同意がある場合
2. 法令に基づき開示、提供することを求められた場合
3. 国または地方公共団体等が公的な事務を実施する上で、協力する必要がある場合であって、受講申込者の同意を得ることにより当該事務の遂行に支障が出るおそれがある場合
4. 受講申込者等の生命・身体・財産・名誉を損なうおそれがあり、本人の同意を得ることができない場合
5. 統計的なデータなど本人を識別できない状態で開示・提供する場合

免責事項

- ・各申込期間中のシステムの不具合による、申込未確定、申込不備による申込取消については、免責されるものとします。
- ・当サイトからリンクやバナーなどによって他のサイトに移動された場合、移動先サイトで提供される情報、サービス等について一切の責任を負いません。

より充実した研修受講のため、 研修管理システム「manaable(マナブル)」に 登録しましょう！！



ステップ1 manaableへ利用者登録

<https://hacsw.manaable.com/signup>

ステップ2 研修を探す & 申込み

<https://hacsw.manaable.com/login>
ログインして、「🔍 研修を探す」⇒ 選択して申込み。

ステップ3 受講の決定

選考研修と先着研修で申込後の流れが異なります。

- 選考: 受講の可否を主催者が決定します。
 - 先着: 先着順で受講を決定します。
- ※いずれも、受講可能になれば通知メールが届きます。

ステップ4 受講料の支払い

クレジットカード、銀行振込、コンビニ決済から選択してください。
※銀行振込の場合、振込先口座情報はメールで届きませんので、必ず表示画面のスクリーンショットやメモ、印刷をして保存しておきましょう。

ステップ5 受講

「自分の研修」⇒ 該当研修を選んでください。

- オンデマンド研修: 「受講」をクリックすると、動画が再生されます。
 - ライブ配信研修: 「出席」をクリックすると、Zoomが立ち上がります。
 - 集合研修: 研修日時に会場で受講します。
- ※課題や試験、アンケートがある場合は、「提出物・試験」をご確認ください。
その他操作に困ったときは、画面右上の「ヘルプ」をご参照ください。

manaableを使用しない研修もあります。
詳しくは、兵庫県社会福祉士会ホームページの研修情報を必ずご確認ください。



【2024年度 基礎研修Ⅰ 開催要項】

主催 一般社団法人兵庫県社会福祉士会 生涯研修センター

基礎研修は、公益社団法人日本社会福祉士会の生涯研修制度の基礎研修課程として、基礎研修Ⅰ・Ⅱ・Ⅲと3段階（3年間）をかけて修了する総合的な研修体系として実施します。
社会福祉士資格取得後の最初の入門研修であり、社会福祉士として基本的な知識や援助技術、ソーシャルワークの価値の基本を学ぶ必須研修として開催します。
また、認定社会福祉士申請に必要な研修となっています。

1. 開催期間：2024年8月～2025年1月
2. 開催方法：ZOOMによるオンライン研修
3. 受講要件：
 - ①社会福祉士
(新規入会者、既会員でこれまでの基礎研修課程を受講されていない方、
生涯研修制度「共通研修課程修了」申請をされていない方)
 - ②全日程に参加できること。(他府県での振替受講はできません)
 - ③下記事項に同意できること。(詳細は別紙にてご確認ください。)
「オンライン研修の受講方法について」「個人情報の取り扱い等に関する注意事項」
「研修資料の著作権について」
4. 定員：90名(先着順)
※受付は先着順ですが、定員を超えた場合は、兵庫県社会福祉士会の会員を優先します。
5. 受講費：社会福祉士会会員 13,200円(税込) 一般(非会員) 26,400円(税込)
※別途テキスト代：5,000円(予定)
※受講費のお支払い方法等は、受講決定通知にてご案内します。
※原則として、一度ご入金いただいた受講費は、返金できませんのでご了承ください。
6. 申込方法：下記の方法でお申し込みください。
【研修申込フォームURL】 <https://x.gd/hmK3f>
上記URLもしくはQRコードから研修申込フォームにアクセスし、必要事項をご入力ください。
※自動返信メールが届いたら、申し込みが完了したとご理解ください。
7. 申込期限：2024年6月30日(日)まで(期限厳守)
8. 受講決定：
受講の可否は、6月上旬以降に「受講決定通知書」を郵送及びメールにてお知らせします。
必ず、本会からのEメールを受信できるようにお願いします。



9. 研修単位：

(生涯研修制度) 基礎研修Ⅰ・基礎研修Ⅱ・基礎研修Ⅲの3つのすべての研修を修了した場合、基礎課程を修了できます(専門課程10単位+生涯研修制度独自の研修・実績3.5時間分)

(認定社会福祉士制度) 一定年限内に基礎研修Ⅰ・基礎研修Ⅱ・基礎研修Ⅲの3つのすべての研修を修了した場合、共通専門研修10単位を取得できます。

10. 問い合わせ先：

兵庫県社会福祉士会 事務局 中村

〒651-0062 神戸市中央区坂口通2-1-1 兵庫県福祉センター3階

TEL：078-265-1330 FAX：078-265-1340

Mail：entry@hacsw.or.jp

【 2024年度 基礎研修Ⅰプログラム 】

○基礎研修Ⅰの流れ

受講申込→受講決定→①事前課題→②オンライン研修Ⅰ→③中間課題→④オンライン研修Ⅱ
基礎研修Ⅰは申込から終了までに4ステップあり、それぞれの課題及び研修を終えなければ、次へ進むことはできません。

スケジュールと研修内容	
2024年4月～6月末	受講申込受付期間
2024年7月	受講決定・事前課題案内
2024年8月	事前課題提出締切 8月中旬(予定) (事前課題内容) 2,000字程度のレポート課題 日本社会福祉士会 e-ラーニング視聴3科目
2024年8月	【開催日】 オンライン研修Ⅰ 2024年8月31日(土)
2024年9月～12月	中間課題作成のための講義：実践報告会(オンライン研修) 【開催日】 2024年9月28日(土) または、2024年10月13日(日)(※任意参加) 中間課題提出締切 12月末(予定) (中間課題内容) 1,200字程度のレポート課題×6本
2025年1月	【開催日】 オンライン研修Ⅱ 2025年1月18日(土)

【2024年度 基礎研修Ⅱ 開催要項】

主催 一般社団法人兵庫県社会福祉士会 生涯研修センター

基礎研修は、公益社団法人日本社会福祉士会の生涯研修制度の基礎研修課程として、基礎研修Ⅰ・Ⅱ・Ⅲと3段階（3年間）をかけて修了する総合的な研修体系として実施します。社会福祉士資格取得後の最初の入門研修であり、社会福祉士として基本的な知識や援助技術、ソーシャルワークの価値の基本を学ぶ必須研修として開催します。また、認定社会福祉士申請に必要な研修となっています。

1. 開催期間：2024年5月～2025年3月（全11回）

2. 開催実施方法：ZOOMによるオンライン研修（8回）＋集合研修（3回）

（※講義日により、会場での集合研修での実施となります。）

集合研修開催場所：兵庫県福祉センター（神戸市中央区坂口通2-1-1）

JR「灘」駅より徒歩10分、阪急「王子公園」駅より徒歩10分

阪神「岩屋」駅より徒歩15分、神戸市営バス92系統「上筒井1丁目」停留所下車すぐ

※原則として福祉センターにお越しの際は、公共交通機関をご利用ください。

（※お申込に際しての留意事項）

集合研修参加の際は、各自でも感染予防対策をお願いします。

現況を鑑みて集合研修をオンライン研修へ変更する場合がありますので、予めご了承ください。

なお、その場合は研修開催日の2週間前を目途にお知らせします。

3. 受講要件：

①基礎研修Ⅰを修了した兵庫県社会福祉士会会員

②全日程に参加できること。（他府県での振替受講可能）

③下記事項に同意できること。（詳細は別紙にてご確認ください。）

「個人情報の取り扱い等に関する注意事項」

「オンライン研修の受講方法について」

「研修資料の著作権について」

※認定社会福祉士制度の単位として単位取得希望の場合

2019年度～2023年度に基礎研修Ⅰを修了している方が対象となります。

4. 定員：80名（先着順）

※受付は先着順ですが、定員を超えた場合は、兵庫県社会福祉士会の会員を優先します。

5. 受講費：社会福祉士会会員 27,500円（税込） 一般（非会員） 55,000円（税込）

※別途テキスト代：5,000円（予定）

※受講費のお支払い方法等は、受講決定通知にてご案内します。

※原則として、一度ご入金いただいた受講費は、返金できませんのでご了承ください。

6. 申込方法：下記の方法でお申し込みください。

【研修申込フォーム URL】 <https://forms.gle/2HPm6PeNXFyquypN9>

上記URLもしくはQRコードから研修申込フォームにアクセスし、必要事項をご入力ください。

※自動返信メールが届いたら、申し込みが完了したとご理解ください。



7. 申込期限：2024年4月21日(日)まで（期限厳守）

8. 受講決定：

受講の可否は、4月末までに「受講決定通知書」を郵送及びメールにてお知らせします。
必ず、本会からのEメールを受信できるようにお願いします。

9. 研修単位：

（生涯研修制度）基礎研修Ⅰ・基礎研修Ⅱ・基礎研修Ⅲの3つのすべての研修を修了した場合、基礎課程を修了できます（専門課程10単位＋生涯研修制度独自の研修・実績3.5時間分）

（認定社会福祉士制度）一定年限内に基礎研修Ⅰ・基礎研修Ⅱ・基礎研修Ⅲの3つのすべての研修を修了した場合、共通専門研修10単位を取得できます。

10. 申込先及び問い合わせ先：

兵庫県社会福祉士会 事務局 中村
〒651-0062 神戸市中央区坂口通2-1-1 兵庫県福祉センター3階
TEL：078-265-1330 FAX：078-265-1340
Mail：entry@hacsw.or.jp

【2024年度 基礎研修Ⅱプログラム】

	開催日	時刻(予定)	科目	開催方法
①	5月18日(土)	9:30~17:00	SW理論系科目Ⅰ	オンライン研修
②	6月1日(土)	9:30~13:00	SW理論系科目Ⅰ	
③	7月6日(土)	9:30~17:00	SW理論系科目Ⅰ (事前課題)	集合研修 (兵庫県福祉センター)
④	8月3日(土)	9:30~17:00	地域開発・政策系科目Ⅰ (事前課題)	オンライン研修
⑤	9月14日(土)	9:30~17:00	地域開発・政策系科目Ⅰ (事前課題・修了レポート)	集合研修 (兵庫県福祉センター)
⑥	10月5日(土)	9:30~17:00	人材育成系科目Ⅰ	オンライン研修
⑦	11月16日(土)	9:30~17:00	権利擁護・法学系科目Ⅰ	
⑧	12月7日(土)	9:30~17:00	権利擁護・法学系科目Ⅰ	
⑨	1月11日(土)	9:30~13:00	実践評価・実践研究系科目	
⑩	2月1日(土)	9:30~17:00	実践評価・実践研究系科目	集合研修 (兵庫県福祉センター)
⑪	3月15日(土)	9:30~17:00	実践評価・実践研究系科目 (事前課題・修了レポート)	

【2024年度 基礎研修Ⅲ 開催要項】

主催 一般社団法人兵庫県社会福祉士会 生涯研修センター

基礎研修は、公益社団法人日本社会福祉士会の生涯研修制度の基礎研修課程として、基礎研修Ⅰ・Ⅱ・Ⅲと3段階（3年間）をかけて修了する総合的な研修体系として実施します。社会福祉士資格取得後の最初の入門研修であり、社会福祉士として基本的な知識や援助技術、ソーシャルワークの価値の基本を学ぶ必須研修として開催します。また、認定社会福祉士申請に必要な研修となっています。

1. 開催期間：2024年5月～2025年3月（全11回）

2. 開催実施方法：ZOOMによるオンライン研修（8回）＋集合研修（3回）

（※講義日により、会場での集合研修での実施となります。）

集合研修開催場所：兵庫県福祉センター（神戸市中央区坂口通2-1-1）

JR「灘」駅より徒歩10分、阪急「王子公園」駅より徒歩10分

阪神「岩屋」駅より徒歩15分、神戸市営バス92系統「上筒井1丁目」停留所下車すぐ

※原則として福祉センターにお越しの際は、公共交通機関をご利用ください。

（※お申込に際しての留意事項）

集合研修参加の際は、各自でも感染予防対策をお願いします。

現況を鑑みて集合研修をオンライン研修へ変更する場合がありますので、予めご了承ください。

なお、その場合は研修開催日の2週間前を目途にお知らせします。

3. 受講要件：

①基礎研修Ⅱを修了した兵庫県社会福祉士会会員

②全日程に参加できること。（他府県での振替受講可能）

③下記事項に同意できること。（詳細は別紙にてご確認ください。）

「個人情報の取り扱い等に関する注意事項」

「オンライン研修の受講方法について」

「研修資料の著作権について」

※認定社会福祉士制度の単位として単位取得希望の場合

2018年度～2023年度に基礎研修Ⅱを修了している方が対象となります。

4. 定員：80名（先着順）

※受付は先着順ですが、定員を超えた場合は、兵庫県社会福祉士会の会員を優先します。

5. 受講費：社会福祉士会会員 33,000円（税込） 一般（非会員） 66,000円（税込）

※別途テキスト代：3,000円（予定）

※受講費のお支払い方法等は、受講決定通知にてご案内します。

※原則として、一度ご入金いただいた受講費は、返金できませんのでご了承ください。

6. 申込方法：下記の方法でお申し込みください。

【研修申込フォーム URL】 <https://forms.gle/nNuwWKXkpNEWuMkZ8>

上記URLもしくはQRコードから研修申込フォームにアクセスし、必要事項をご入力ください。

※自動返信メールが届いたら、申し込みが完了したとご理解ください。



7. 申込期限：2024年4月21日(日)まで（期限厳守）

8. 受講決定：

受講の可否は、4月末までに「受講決定通知書」を郵送及びメールにてお知らせします。
必ず、本会からのEメールを受信できるようにお願いします。

9. 研修単位：

（生涯研修制度）基礎研修Ⅰ・基礎研修Ⅱ・基礎研修Ⅲの3つのすべての研修を修了した場合、基礎課程を修了できます（専門課程10単位＋生涯研修制度独自の研修・実績3.5時間分）

（認定社会福祉士制度）一定年限内に基礎研修Ⅰ・基礎研修Ⅱ・基礎研修Ⅲの3つのすべての研修を修了した場合、共通専門研修10単位を取得できます。

10. 申込先及び問い合わせ先：

兵庫県社会福祉士会 事務局 中村
〒651-0062 神戸市中央区坂口通2-1-1 兵庫県福祉センター3階
TEL：078-265-1330 FAX：078-265-1340
Mail：entry@hacsw.or.jp

【2024年度 基礎研修Ⅲプログラム】

	開催日	時刻(予定)	科目	開催方法
①	5月25日(土)	9:30~17:00	実践評価・実践研究系科目Ⅰ	オンライン研修
②	6月15日(土)	9:30~17:00	実践評価・実践研究系科目Ⅰ SW理論系科目Ⅰ (事前課題・修了レポート)	
③	7月13日(土)	9:30~17:00	実践評価・実践研究系科目Ⅰ (中間課題・修了レポート)	集合研修 (兵庫県福祉センター)
④	8月24日(土)	9:30~17:00	権利擁護・法学系科目Ⅰ (事前課題・修了レポート)	オンライン研修
⑤	9月21日(土)	9:30~17:00	地域開発・政策系科目Ⅰ (事前課題)	集合研修 (兵庫県福祉センター)
⑥	10月26日(土)	13:30~17:00	サービス管理・経営系科目Ⅰ	オンライン研修
⑦	11月23日(土)	9:30~17:00	サービス管理・経営系科目Ⅰ	
⑧	12月21日(土)	9:30~17:00	サービス管理・経営系科目Ⅰ (事前課題・修了レポート)	
⑨	1月25日(土)	9:30~17:00	地域開発・政策系科目Ⅰ (中間課題・修了レポート)	
⑩	2月15日(土)	9:30~17:00	人材育成系科目Ⅰ (事前課題・修了レポート)	
⑪	3月8日(土)	9:30~17:00	人材育成系科目Ⅰ (事前課題)	集合研修 (兵庫県福祉センター)

主催：兵庫県社会福祉士会



Zoom開催

2024年度 認定社会福祉士認証・認定機構による認証研修

スクールソーシャルワーカー養成研修

本研修は、スクールソーシャルワーカーとして、教育の場を拠点とした児童・家庭支援を実践するための社会福祉士の力量を養成するとともに、事例研究等により具体的な対応方法を習得することを目的に開催します。また、学校現場で支援を要する児童・家庭の状況を的確にアセスメントし、学校・保護者・地域（関係機関含む）との連携と協働を基に、児童の最善の利益の実現を図るスクールソーシャルワーカーとして活動ができることを目指します。

オンライン開催ですので、全国どこからでも受講いただけます。

*SSW現任者の方も受講いただけます。

■開催日

2024年4月27日（土）～
4月28日（日） 2日間

■受講対象

以下の①、②を満たす方

- ①社会福祉士であること
- ②スクールソーシャルワークに関心のある福祉専門職であること

■定員

50人（先着順）

■受講料(消費税込)

社会福祉士会会員 13,000円
非会員 26,000円

2日間通しの受講料設定です。
欠席があっても返金できません。

■申し込み方法

兵庫県社会福祉士会の研修管理システム「manaable（マナブル）」でお申し込みください。
次ページをご確認ください。

■修了要件

以下の①、②、③すべてを満たす方

- ①事前課題を提出すること（受講決定通知とともにご案内します）
 - ②2日間の研修を受講すること（15分以上の遅刻・早退・途中退出は未修了となります）
 - ③事後課題を提出し、合格すること
- ただし、認証研修の単位が不要な場合は、事前・事後課題の提出の有無は問いません。

■申込期限

2024年4月12日（金）

■研修受講に関する注意事項

- ※本研修受講には、Zoomを利用できるオンライン環境及び機器が必要です。
- ※本研修では、ブレイクアウトルームを利用したグループワークを行います。
- ※複数の方が1台の機器で受講することはできませんので、おひとり1台ずつの機器でご受講ください。

お問い合わせ先： 一般社団法人 兵庫県社会福祉士会

TEL：078-265-1330 FAX：078-265-1340

Mail：entry@hacsw.or.jp

*お問い合わせの際は、研修名と研修コード「1401」もあわせてお伝えください。

■研修プログラム（予定）

日時	内容	講師
4月27日（土）	9：00～受付 9：20～開講挨拶・オリエンテーション	
9：30～11：00	①【講義】スクールソーシャルワーク実践 ＜子どもの貧困＞	福田公教氏（関西大学 人間健康学部）
11：10～12：40	②【講義】教育行政と学校文化	中野澄氏（大阪成蹊短期大学部 グローバルコミュニケーション学科 教授）
13：30～15：00	③【講義】スクールソーシャルワークの理論	大塚美和子氏 （神戸学院大学総合リハビリテーション学部教授）
15：10～16：40 16：40～事務連絡	④【講義・演習】エビデンスに基づく効果的なスクールソーシャルワーク	大塚美和子氏
4月28日（日） 9：30～11：00	9：15～受付 ⑤【講義・演習】スクールソーシャルワーク 実践＜子どもの虐待・いじめ＞	福田 公教氏
11：10～12：40	⑥【講義・演習】スクールソーシャルワーク 実践＜SSW実践ガイドラインに基づく個別 支援アセスメントの活用＞	鈴木庸裕氏 （日本福祉大学教育心理学部）
13：30～15：00	⑦【講義・演習】事例からスクールソーシャル ワーカーの支援展開を学ぶⅠ	佐々木千里氏 （立命館大学・愛知県立大学大学院非常勤講師）
15：10～16：40	⑧【講義・演習】事例からスクールソーシャル ワーカーの支援展開を学ぶⅡ	佐々木千里氏
16：40～事務連絡		

■申し込み方法

兵庫県社会福祉士会の「manaable(マナブル)」ホームページからお申し込みください。

(<https://hacsw.manaable.com/signup>)

「manaable(マナブル)」に登録後、研修情報欄よりお申し込みください。

※manaable新規登録フォームへのQRコードはこちら→。

※manaableの登録方法については、<https://x.gd/ZScAF>をご覧ください。

※manaable登録後の操作方法などで不明の場合は
manaableヘルプセンターをご覧ください。

<https://help.manaable.com/index.html>



2024年度 成年後見人材育成研修 募集要項

成年後見人等候補者を養成する研修として、成年後見人材養成研修（認定社会福祉士認証・認定機構による認定研修・4日間）を下記の要領で開催する予定です。本研修の修了者は、受任候補者を養成する「名簿登録研修（1日間）」を修了し、権利擁護センターぱあとなあ成年後見人等候補者名簿に登録することになります。（※別途名簿登録料が必要です）

- 1. 主催** 一般社団法人兵庫県社会福祉士会
- 2. 研修区分** 認定社会福祉士認証・認定機構による認証研修 認証番号：20180005
「分野専門（高齢）ソーシャルワーク機能別科目群 後見制度の活用（成年）2単位」
- 3. 研修目標** ①専門職後見人として社会福祉士が身につけるべき知識・技術を習得し、権利擁護センターにおける成年後見人としての一定の力量を確保すること。②地域で相談援助にあたる者が、成年後見制度活用の知識、技術を習得すること。成年後見人等として実務を担う社会福祉士（成年後見人等受任候補者）の養成を目的とする。

4. 開催日

	日程	※全日程受付は9:00～	開催方法
第1日目	2024年8月4日（日）	9時10分～17時00分	Zoomミーティングを使用したオンライン研修
第2日目	2024年9月11日（水）	9時10分～16時30分	
第3日目	2024年10月14日 （月・祝）	9時10分～16時30分	
第4日目	2024年11月2日（土）	9時30分～16時00分	集合研修

※名簿登録研修 2024年12月1日（日）9時30分～17時00分 ※集合研修

- 5. 会場** 第4日目と名簿登録研修は、集合し「兵庫県福祉センター1階 多目的ホール」で開催（神戸市中央区坂口通2-1-1 JR灘駅より徒歩約10分 阪急王子公園駅 徒歩約10分）
- 6. 受講対象** 次の要件のすべてを満たす者
 - （1）兵庫県社会福祉士会会員。または、本会と契約を交わした都道府県社会福祉士会に所属する社会福祉士。
 - （2）カリキュラムの全課程に出席できる者
 - （3）日本社会福祉士会の基礎課程を修了している者、若しくは2011年度までの日本社会福祉士会の旧生涯研修制度の共通研修課程を1回以上修了している者
 - （4）2024年4月1日現在70歳未満の者（兵庫県会員のみ）
- 7. 定員** 50名 ※なお、受講申込者が一定数に満たない場合は、研修開催を中止することもあります。
- 8. 受講費** 5万円（税込み）（別途市販テキスト代、約14,000円が必要となります。）
※一旦、納入された受講費は、主催者の責による場合以外は返金いたしません。
※成年後見人材育成研修の受講料です。名簿登録研修は、受講料は不要です。

第1日目から第3日目は、Zoomミーティングによるオンライン研修です。4日目は、集合研修です。

①研修の参加には「個人情報等の取り扱い等に関する注意事項」「オンライン研修の受講方法について」「研修資料の著作権について」各事項に同意をしていただく必要があります。別紙をご確認ください。

②研修開始前、研修中にすべてオンライン研修に変更になった場合等、受講費の支払い後は 受講費の変更、返還はありません。ご承知おきください。

9. 申し込み 下記のURLかQRコードから兵庫県社会福祉士会の研修管理システム「manaable (マナブル)」にアクセスし、「新規登録」の後、当研修にお申し込みください。

登録の手順は、兵庫県社会福祉士会のホームページに掲載しています。

<https://hacsw.manaable.com/signup>



◆申込期間 2024年4月12日(金)～26日(金)

10. 受講決定 受講決定は、あらかじめ決められた定員に基づき、兵庫県社会福祉士会にて決定します。

11. 受講可否の連絡等

- ・5月下旬までに「manaable(マナブル)」から受講の可否についての通知メールが送付されます。マナブルにログインしてご自身で確認をしていただきます。
- ・受講申込が一定数に満たない場合は、研修開催を中止することがありますのでご了承ください。
- ・受講費の納入方法、テキストの購入方法、事前課題、およびキャンセル等の扱いについては、マナブルにログインをして確認をしていただくこととなります。

12. 修了要件

研修の修了には、次の基準を満たす必要があります。

- ・面接授業の出席が100%であること(オンライン研修の場合は、画面上で出席確認)
- ・事前課題を提出すること
- ・修了評価で一定の水準を満たすこと
- ・15分以上の遅刻・早退があった場合は、その課目を欠席したものとみなす。

(また、15分未満の遅刻・早退は5回で1課目に相当する欠席とみなす。面接授業(オンラインを含む)を欠席した課目数が4課目以内(修了評価をのぞく)の場合は、1期(1年間に限り受講期間の延長を認め、翌年度に欠席した課目を履修し修了評価にて合格することで、本研修を修了することができる。)

13. 研修単位について

(1) 公益社団法人日本社会福祉士会の生涯研修制度においては、新生涯研修制度では専門課程の2単位となり、旧生涯研修制度では「専門分野別研修」となります。

(2) 本研修は、認定社会福祉士制度の研修として認証されています。

認証科目：後見制度の活用(成年)(分野専門/高齢分野、ソーシャルワーク機能別科目群)

単位数：2単位

認証番号：20180005

注：分野については、認定社会福祉の認定申請をするときに、自身の申請をしようとする分野の単位として扱うことができます。「後見制度の活用(成年)」は、高齢分野のほか、障害分野、医療分野、地域社会・多文化分野の認定申請者も各分野の単位として扱うことができます。

14. カリキュラム (1) 講義・演習等：4日間23.5時間 (2) 事前課題：指定する6課目

問い合わせ先	兵庫県社会福祉士会 事務局 担当 北野
申込先	〒651-0062 兵庫県神戸市中央区坂口通2-1-1 兵庫県福祉センター3F 兵庫県社会福祉士会 ぱあとなあ兵庫事務局 partner-jimu@hacsw.or.jp
TEL	: 078-222-8107 FAX: 078-265-1340

今を生きるコツ ～より良く生きるために～

「いかに生きるか」は、クライアントの支援において重要なテーマになります。人がどう生きればよいかを見直すプロセスをサポートされているチャプレンの仕事の本質について学び、また社会福祉士への期待（夢を描く、語りあう、感じて動く）を広い観点から見つめてみたいと思います。

興味関心のある方なら、どなたでもお気軽にご参加ください。お申し込みは不要です。

日 時：2024 年 **5 月 12 日(日)** 15:00～16:30

参加方法：西はりま地場産業センター 601 会議室

姫路市南駅前町 123 番 Tel 079-289-2832

もしくは Zoom

●ミーティング ID：810 6799 3072

●パスコード：655804

参加費：無料（直接会場へお越し頂くか Zoom にて入室して下さい）

講師：沼野 尚美 氏

宝塚市立病院緩和ケア病棟チャプレン・カウンセラー

自然災害発生等によりやむを得ず研修を中止する場合があります。

判断基準等は、本会 HP をご参照下さい。 本会 HP: <http://www.hacsw.or.jp/>

○当日連絡先 西はりまブロック 岸 剛健 TEL 080-5038-9420

【お問合せ】一般社団法人 兵庫県社会福祉士会

西はりまブロック事務局

メール staygoldtake2856@infoseek.jp

視聴期間

6月1日(土)～6月30日(日)

※前期・後期どちらも研修内容は同じものです。

後期分は前期締切後6月3日(月)から受付開始します。

医療的ケア児が増加している状況を踏まえ、地域において必要な支援を受けることができるように、関係機関との連携調整を行うための体制を整備することを目的に、国が定めるカリキュラムに基づく研修を実施します。

また、「要医療児者支援体制加算」のためには、「医療的ケア児等コーディネーター養成研修」を修了した職員配置が必要になります。「医療的ケア児等コーディネーター養成研修」を受講するためには、本研修の修了が必須です。

受講対象	地域の事業所等において医療的ケア児等の支援に従事している者(予定含む) 例)相談支援専門員、行政職員、訪問看護師、児童発達管理責任者、障害福祉サービス事業所従業者、医療機関等従業者、保育所・幼稚園・学校・特別支援学校等で医療的ケア児に関わる者など
受講料	2,000円 ※テキスト代別(約3,000円) 使用テキストについては受講決定通知の際にお知らせします。
開催方法	オンデマンドにて講義動画を配信 (視聴期間内であればいつでも、何度でも視聴可能) ※インターネットに接続し、当該研修を視聴できる環境をご用意ください。
研修内容 (5科目約12時間)	【総論】①医療的ケア児等支援の特徴 ②支援に必要な概念 【医療】①障害のある子どもの成長と発達の特徴 ②疾患の特徴 ③生理 ④日常生活における支援 ⑤救急時の対応 ⑥訪問看護のしくみ 【福祉】①本人・家族の思いの理解 ②支援の基本的枠組み ③福祉の制度 ④遊びと保育 ⑤家族支援 ⑥虐待 【連携】①小児在宅医療における多職種連携 ②連携・協働の必要性 【ライフステージにおける支援】 ①各ライフステージにおける相談支援に必要な視点 ②NICUからの在宅移行支援 ③児童期における支援 ④学齢期における支援 ⑤成人期における支援 ⑥医療的ケアの必要性が高い子どもへの支援
修了要件	講義動画を全て視聴するとともに、6月30日(日)までに事後課題を提出し、合格すること。
申込方法	5月31日(金)までに、下記のURLかQRコードにアクセスし、必要事項を入力し、お申し込みください。 https://forms.gle/ze3wqViv4BuSd6Jy7 一事業所から10名分まで、一つのフォームからお申し込み可能です！10名以上お申し込みされる場合は、お手数をおかけしますが、フォームを分けてお申し込みください。



【お問い合わせ】

兵庫県社会福祉士会事務局 078-265-1330 担当：胡中 konaka@hacsw.or.jp

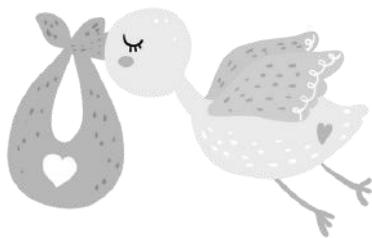
令和6年度

医療的ケア児等支援者養成研修

【前期】

主催：兵庫県 主管：一般社団法人兵庫県社会福祉士会

ZOOM研修



福祉専門ゼミナール

こころのとりゼミ

全3回 6月14日/7月12日/8月2日

金曜 夜19:00~20:30

共通テーマ「孤独や孤立という社会課題に ソーシャルワーカーはどう向き合うのか？」

今春「孤独・孤立対策推進法」や「困難女性支援法」などの新法が施行されました。我々社会福祉士も、誰もが取り残されることのない健やかな暮らしを守るために、様々な対応が期待されるようになっていきます。

そこで今回は、長年地道な活動を続けている3人の講師の方々より、さまざまな切り口から、共通テーマを語って頂きます。

第1回 6月14日(金)

「認知症の私から見える社会」

(講師)丹野 智文氏 (認知症当事者)

(プロフィール)

11年前、39歳の時にアルツハイマー型の認知症と診断されました。
診断後もネットヨタ仙台に勤めながら全国で講演活動などを行っています。
認知症の当事者が不安をもった当事者の話を聞く、相談窓口を9年前に開設
おれんじドア代表、一般社団法人認知症当事者ネットワークみやぎ代表理事
として当事者が活躍出来る場を広げています。

著者に「丹野智文笑顔でいきる」文藝春秋
「認知症の私から見える社会」講談社



料金：会員 2,200円/一般 4,400円 申し込み〆切：5月31日(金)

第2回 7月12日(金)

「トラウマインフォームドケアと高校生支援

～人生の予後不良を回避する最後のチャンスへのアプローチ～

(講師) 辻田 梨沙氏 (精神保健福祉士)

トラウマインフォームドケア・・・医療・保健・福祉・教育・司法など、さまざまな領域で、トラウマについての理解を深め、サービスの多様な局面でトラウマへの癒しを大切にしようとする支援の基本概念のこと

(プロフィール)

(一社)officeドーナツトーク スーパーバイザー
ラテルネSWO〔個人事務所〕

大学卒業後、NPOで不登校支援に携わりながら専門学校でPSW取得
2011年に内閣府研修でドイツを訪れ、

2012年に大阪府立西成高校に「となりカフェ」を開設

大阪府、兵庫県、徳島県でSSWも経験。

現在は子育て移住で徳島県在住。児童発達支援事業に従事しつつ

DV被害の家庭支援、カフェスタッフのSV等を行う。

料金：会員 2,200円/一般 4,400円 申し込み〆切：6月28日(金)



第3回 8月2日(金)

「孤独孤立と生活困窮者の支援

～孤独・孤立対策推進法などの新しい法制度を踏まえて～

(講師) 尾崎 幸弘氏 (弁護士)

(プロフィール)

平成3年 司法試験合格

平成4年 司法研修所入所

平成6年 司法研修所修了・弁護士登録

平成11年 神戸市中央区に「尾崎幸弘法律事務所」開設、現在に至る。

(主な役職歴)

兵庫県弁護士会 人権擁護委員会 委員長

兵庫県弁護士会 労働と生活に関する委員会 委員長

神戸刑務所 視察委員会 委員長

神戸学院大学 客員教授

神戸市人権擁護委員協議会 会長

兵庫県人権擁護委員連合会 会長

料金：会員 2,200円/一般 4,400円 申し込み〆切：7月19日(金)



申し込み方法

募集定員：各30名（先着順）※最少催行数12名

今回より研修管理システム「mandable(マナブル)」を使った申し込みになります。

「mandable」に登録後、研修情報欄より、申し込みください。

システムの都合上、3回セットでの料金はなくなりましたので、それぞれの研修に対して申し込みが、必要です。

※mandable新規登録フォームは、QRコードから入ることが出来ます。→

mandable新規登録フォーム：<https://hacsw.mandable.com/signup>





兵庫県社会福祉士会 実践発表会 発表者募集！

兵庫県社会福祉士会では、社会福祉士が日々の実践を振り返り、より良いソーシャルワークを展開するとともに、会員の実践研究能力を高め、学会等での発表や研究誌への投稿につなげることを期待して実践発表会を開催いたします。

実践研究・実践報告の発表者を募集いたします。

奮ってお申込みください！

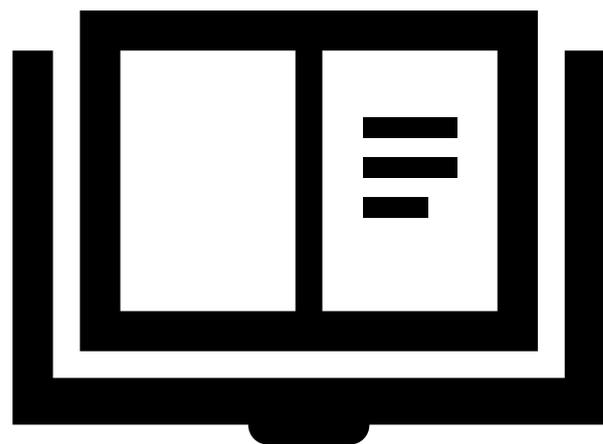
詳しくは下記 URL もしくは QR コードにアクセスしてください。

<http://www.hacsw.or.jp/training/presentation2024/>



兵庫県社会福祉士会 調査研究委員会

投稿募集



研究誌

『兵庫社会福祉士』

- 社会福祉士の実践を重視
- 投稿区分は「実践研究」と「実践報告」
- 実践を振り返り、言語化し、共有する場として活用

！
長らく休刊していた研究誌『兵庫社会福祉士』がリニューアルして再開します。日々の実践から見出される、社会福祉士としての専門性をまとめることを重視します。

執筆要領などの詳細は、
本会ホームページをご確認ください。

URL : <http://www.hacsw.or.jp/training/researchjournal2024/>

投稿締切：9月30日（月）必着

一般社団法人兵庫県社会福祉士会

調査研究委員会



委員会活動を見学してみませんか?

委員会活動の様子を見てみませんか?新たな仲間と出会えるチャンスです♪参加資格は、「興味・関心がある」でOK!どなたでも参加いただけます。

下記、見学申込書に必要事項を記入の上、兵庫県社会福祉士会事務局までメールまたはFAXでお申し込みください。



兵庫県社会福祉士会事務局 行き

FAX 078-265-1340 E-mail entry@hacsw.or.jp

委員会見学申込書

研修委員会	子ども家庭支援委員会
調査研究委員会	実習教育支援委員会
国家試験対策委員会	独立型社会福祉士支援委員会
広報委員会	障がい福祉委員会
ソーシャルワーク研究委員会	更生支援委員会
高齢者・障害者虐待対応委員会 <small>※委員会参加には要件があります</small>	地域移行支援委員会
	生活困窮者支援委員会
地域包括支援センター支援委員会	災害福祉支援委員会

見学を希望する委員会に○を付けてください(複数選択OK!)

ふりがな	会 員 番 号	
氏 名		
電 話 番 号 <input type="checkbox"/> 自宅・携帯 <input type="checkbox"/> 勤務先	※ 日中連絡のつく番号	
メールアドレス <input type="checkbox"/> 自宅・携帯 <input type="checkbox"/> 勤務先		
勤務先(任意)		
備 考		

後日、委員会担当者から直接ご案内いたします。

お問い合わせ先

兵庫県社会福祉士会事務局 TEL 078-265-1330

都道府県社会福祉士会 入退会・変更届

年 月 日

会員番号		氏名	
------	--	----	--

1. 所属社会福祉士会の変更 退会→入会 (所属の変更のみ)

※規約により所属社会福祉士会は住所または勤務先所在の都道府県となります。

私は	旧 所属	社会福祉士会を退会し	新 所属	社会福祉士会に入会します

2. 氏名の変更

ふりがな		ふりがな	
旧氏名		新氏名	

3. 住所等の変更 (年 月 日変更)

旧住所	〒		
ふりがな			
新住所	〒 (アパート・マンション名もご記入ください)		
電話番号	FAX番号		
	E-mail		

4. 勤務先等の変更

勤務先名称			
勤務先種別	職 種		
所在地	〒		
電話番号	FAX番号		
	E-mail		

5. 年会費引落とし口座の変更

<input type="checkbox"/>	変更しません	<input type="checkbox"/>	銀行口座に変更します	<input type="checkbox"/>	郵便口座に変更します
--------------------------	--------	--------------------------	------------	--------------------------	------------

※変更される方には所定の用紙をお送りします。

